

第 1 回愛媛県県立学校振興計画検討委員会

資 料

愛媛県教育委員会

令和 2 年 9 月 2 日（水）

(目次)

1 愛媛県県立学校振興計画検討委員会設置要綱	1
2 愛媛県県立学校振興計画検討委員会地域協議会	3
3 愛媛県県立学校振興計画検討プロジェクトチーム	4
4 「県立学校振興計画」策定スケジュール	5
5 愛媛県県立高等学校再編整備計画（平成15年12月）	9
6 愛媛県県立学校再編整備計画（平成20年8月）	17
7 県立高校再編整備について	29
8 再編整備基準該当校の状況	30
9 令和2年度第1学年在籍者数	31
10 生徒数の学科別構成率	32
11 本県の高等学校在籍生徒数及び学校数の推移	33
12 生徒数と学校数の変化	34
13 県立高等学校入学者選抜実施状況	35
14 定員割れの状況	36
15 令和元年度全日制高校定員・入学生数調査	40
16 1学年当たりの学級数	41
17 東・中・南予における学校規模の特徴	42
18 アンケート調査結果	43
19 1学年当たりの適正規模	48
20 今後の中学校卒業者数の推移	49
21 学校魅力化の取組について	50
22 愛媛県立高等学校全国募集	51
23 学科改編、新類型・系列・コースの新設	52
24 市町等からの支援	53
25 特色ある学校・学科等について	54
26 中等教育学校について	55
27 定時制課程について	56
28 過去5年間の志願者数推移（定時制）	57

愛媛県県立学校振興計画検討委員会等設置要綱

(設置)

第1条 愛媛県教育委員会（以下「県教育委員会」という。）が愛媛県県立学校振興計画（以下「振興計画」という。）を策定するに当たり、振興計画の指針その他必要な事項を検討させるため、愛媛県県立学校振興計画検討委員会（以下「計画検討委員会」という。）を設置する。

(任務)

第2条 計画検討委員会は、次に掲げる事項について処理する。

- (1) 県立学校の現状と課題及び再編整備の在り方を示す県立学校振興指針に係る愛媛県教育委員会教育長（以下「県教育長」という。）からの審議依頼に対する報告
- (2) 県教育委員会が策定する振興計画に対する指導及び助言
- (3) その他必要な事項

(組織)

第3条 計画検討委員会は、委員12名以内をもって組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから県教育長が委嘱し、又は任命する。

- (1) 学識経験者
- (2) 県外有識者
- (3) 経済・地域・PTAの各分野において専門的知識を有する者
- (4) 学校教育に専門的知識を有する者

(委員長及び副委員長)

第4条 計画検討委員会に委員長及び副委員長各1人を置く。

2 委員長は、委員が互選し、副委員長は委員長が指名する。

3 委員長は、計画検討委員会を代表し、会務を総理する。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代行する。

(会議)

第5条 計画検討委員会の会議は、委員長が招集し、議長となる。

2 委員長は、必要に応じて委員以外の者を会議に出席させ、意見を求めることができる。

(地域協議会)

第6条 振興計画に係る地域の意見を聴取するため、計画検討委員会に愛媛県県立学校振興計画検討委員会地域協議会（以下「地域協議会」という。）を設置する。

(地域協議会の組織等)

第7条 地域協議会は、県内8地区（四国中央、新居浜、西条、今治・越智、松山・伊予・上浮穴、大洲・喜多、八西・西予、宇和島・南宇和）に設置する。

2 会員は次に掲げる者のうちから県教育長が委嘱し、又は任命する。

- (1) 市町長及び市町教育委員会教育長
- (2) 地域住民
- (3) 公立小学校長
- (4) 公立中学校長
- (5) 県立高等学校長及び県立中等教育学校長

3 地域協議会に、会長及び副会長各1人を置く。

- (1) 会長は、会員が互選し、副会長は会長が指名する。
- (2) 会長は、地域協議会を代表し、会務を総理する。
- (3) 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代行する。

- 4 地域協議会の会議は、会長が招集し、議長となる。
- 5 会長は、必要に応じて、会員以外の者を会議に出席させ、資料の提供又は意見を求めることができる。

(秘密の保持)

第8条 計画検討委員会及び地域協議会の関係者は、職務上知り得た情報を他に漏らしてはならない。その職を退いた後も、同様とする。

(庶務)

第9条 計画検討委員会及び地域協議会の庶務は、愛媛県教育委員会事務局指導部高校教育課において処理する。

(解散)

第10条 計画検討委員会及び地域協議会は、その任務が達成されたときに解散する。

(雑則)

第11条 この要綱に定めるもののほか、計画検討委員会及び地域協議会の運営に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この要綱は、令和2年8月7日から施行する。

愛媛県県立学校振興計画検討委員会地域協議会

- 県内 8 地区（四国中央、新居浜、西条、今治・越智、松山・伊予・上浮穴、大洲・喜多、八西・西予、宇和島・南宇和に設置する。
- 下記の構成員で構成する協議会で、県立学校振興計画検討委員会が策定する振興計画に対して、地域の意見や課題等を聴取する。
- 各地区で開催する協議会は公開協議とする。

※協議会構成員数（地区別）

No	地区	該当市町	市 町 長 市町教育長	地域住民	小学校長	中学校長	県立高校 中等教育 学 校 長	合計
1	四国中央	四国中央市	2	2	1	1	3	9
2	新居浜	新居浜市	2	2	1	1	5	11
3	西条	西条市	2	2	1	1	5	11
4	今治・越智	今治市	2	2	1	1	5	17
		上島町	2	2	1	1	0	
5	松山・伊予・上浮穴	松山市	2	2	1	1	8	48
		伊予市	2	2	1	1	1	
		東温市	2	2	1	1	1	
		久万高原町	2	2	1	1	1	
		松前町	2	2	1	1	1	
		砥部町	2	2	1	1	0	
6	大洲・喜多	大洲市	2	2	1	1	3	16
		内子町	2	2	1	1	1	
7	八西・西予	八幡浜市	2	2	1	1	3	24
		西予市	2	2	1	1	2	
		伊方町	2	2	1	1	1	
8	宇和島・南宇和	宇和島市	2	2	1	1	6	32
		松野町	2	2	1	1	0	
		鬼北町	2	2	1	1	1	
		愛南町	2	2	1	1	1	
合計			40	40	20	20	48	168

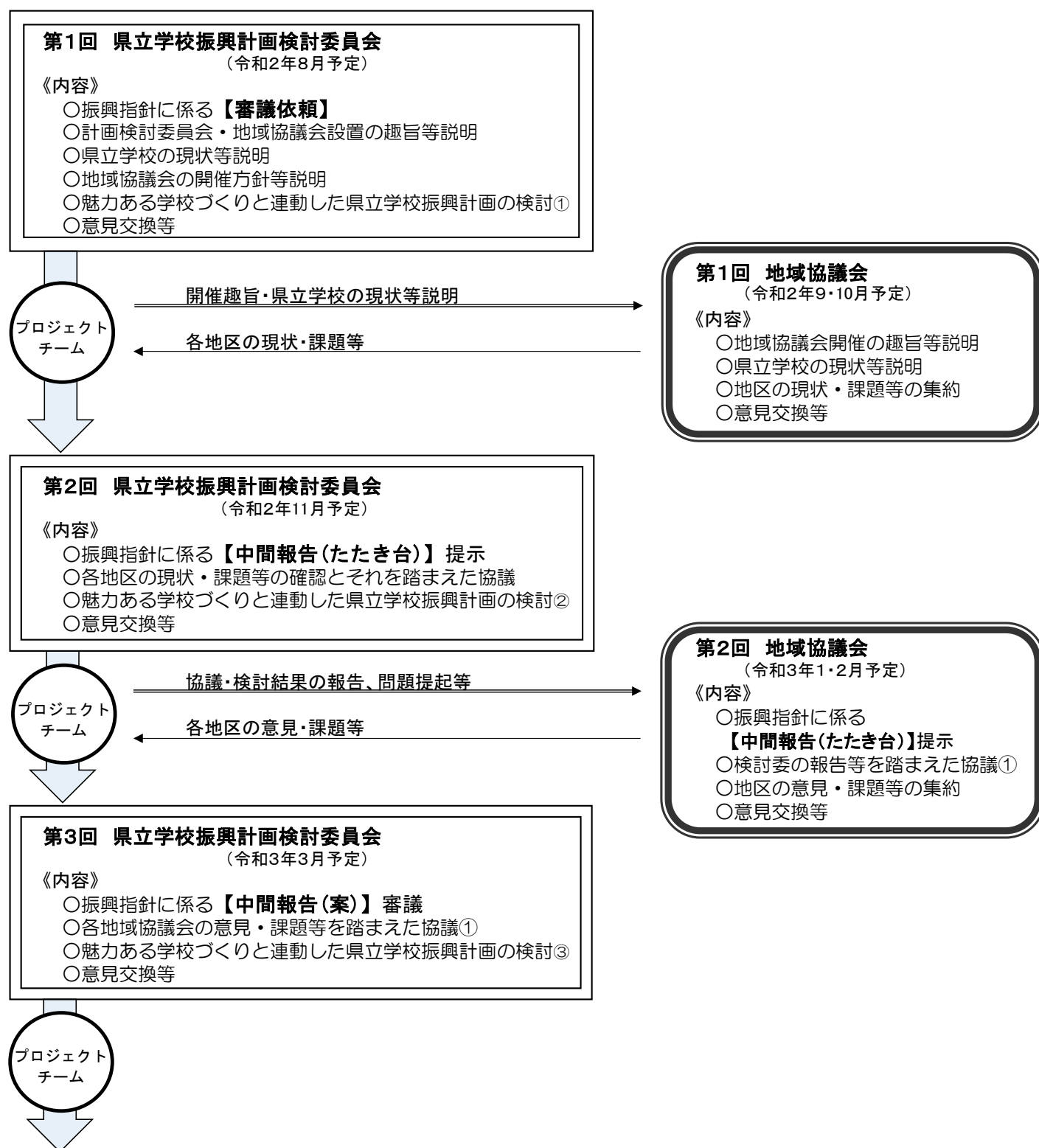
愛媛県県立学校振興計画検討プロジェクトチーム

1 任務

県立学校振興計画検討委員会と意見交換等を行い、県立学校振興計画（案）を策定し、県教育委員会に報告する。

2 班員

区 分		職 名	氏 名
班 長		教育委員会事務局指導部長	和田 真志
副 班 長		教育委員会事務局高校教育課長	島瀬 省吾
		教育委員会事務局特別支援教育課長	藤田 司
班 員	高 校 教 育 課	主幹	村上 慶三
		主幹	中島 康史
		主幹	矢野 重禎
		施設管理グループ担当係長	三宅 俊輔
		教職員係長	中井 賢哉
		教育指導グループ担当係長	渡邊 弘安
		魅力化推進グループ担当係長	佐伯 達弥
		魅力化推進グループ担当係長	細川 昌弘
	義 務 教 育 課	主幹	前原 淳
		教育指導グループ担当係長	大倉 匡仁
	特 別 支 援 教 育 課	主幹	上田 隆浩
		教育指導グループ担当係長	原 喜代佳
	教 育 総 務 課	主幹	山本 大輔
		企画情報グループ担当係長	小倉 浩

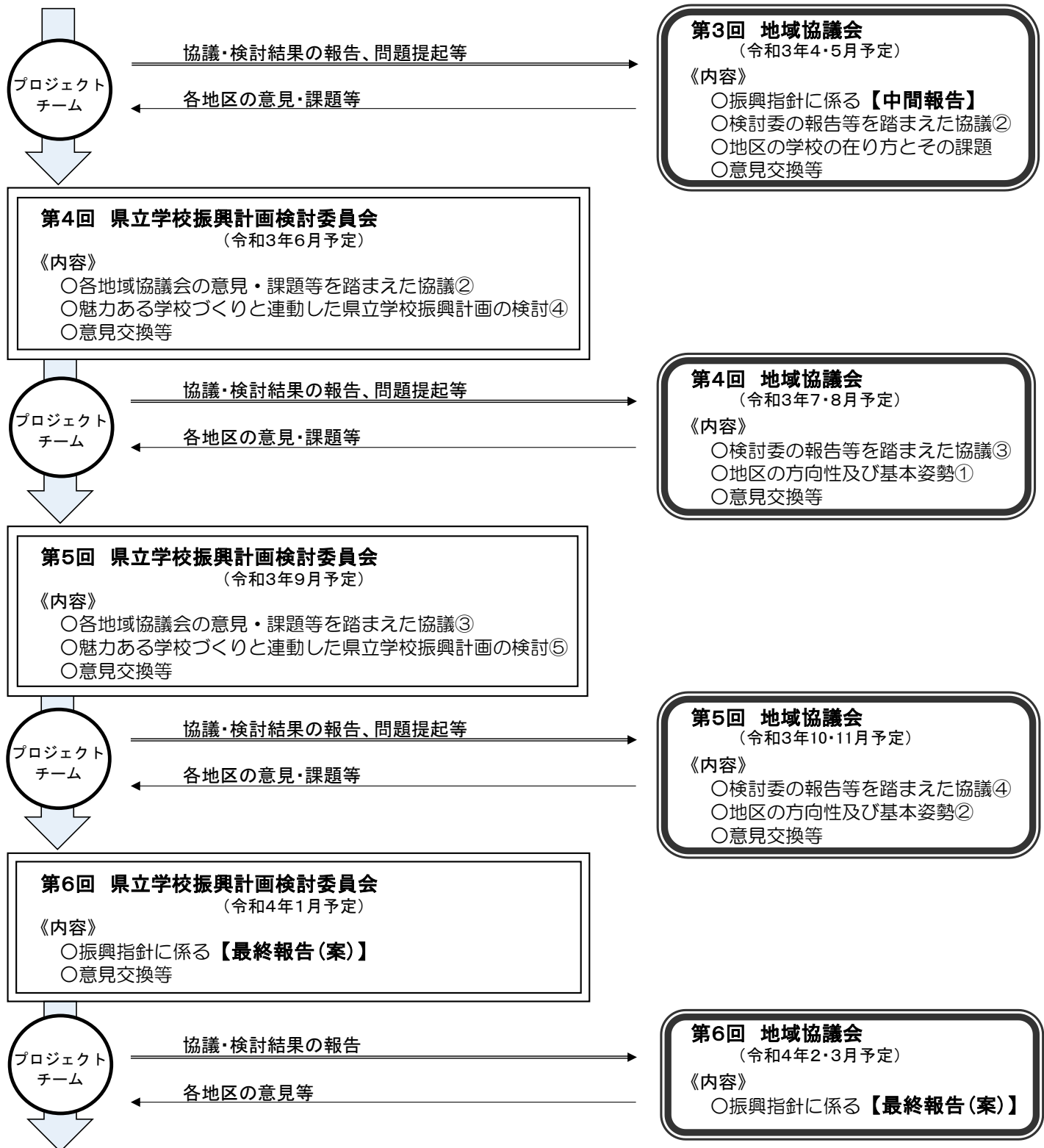


令和3年度以降のスケジュール（案）

令和3年度	5～3月	計画検討委員会・地域協議会の開催
	3月	計画検討委員会が、県教委に振興指針に係る【最終報告】提出
令和4年度	4月	プロジェクトチームが、【県立学校振興計画（案）】を策定し県教委に提出
	5～6月	「県立学校振興計画（案）」を計画検討委員会で審議するとともに地域協議会へ報告後、公表
	7～9月	地域説明会（一般地域住民対象）を開催
	10～12月	パブリックコメントを実施
	1月	教育委員会定例会で【県立学校振興計画】を決定し公表
令和5年度	4月～	県立学校振興計画の実施

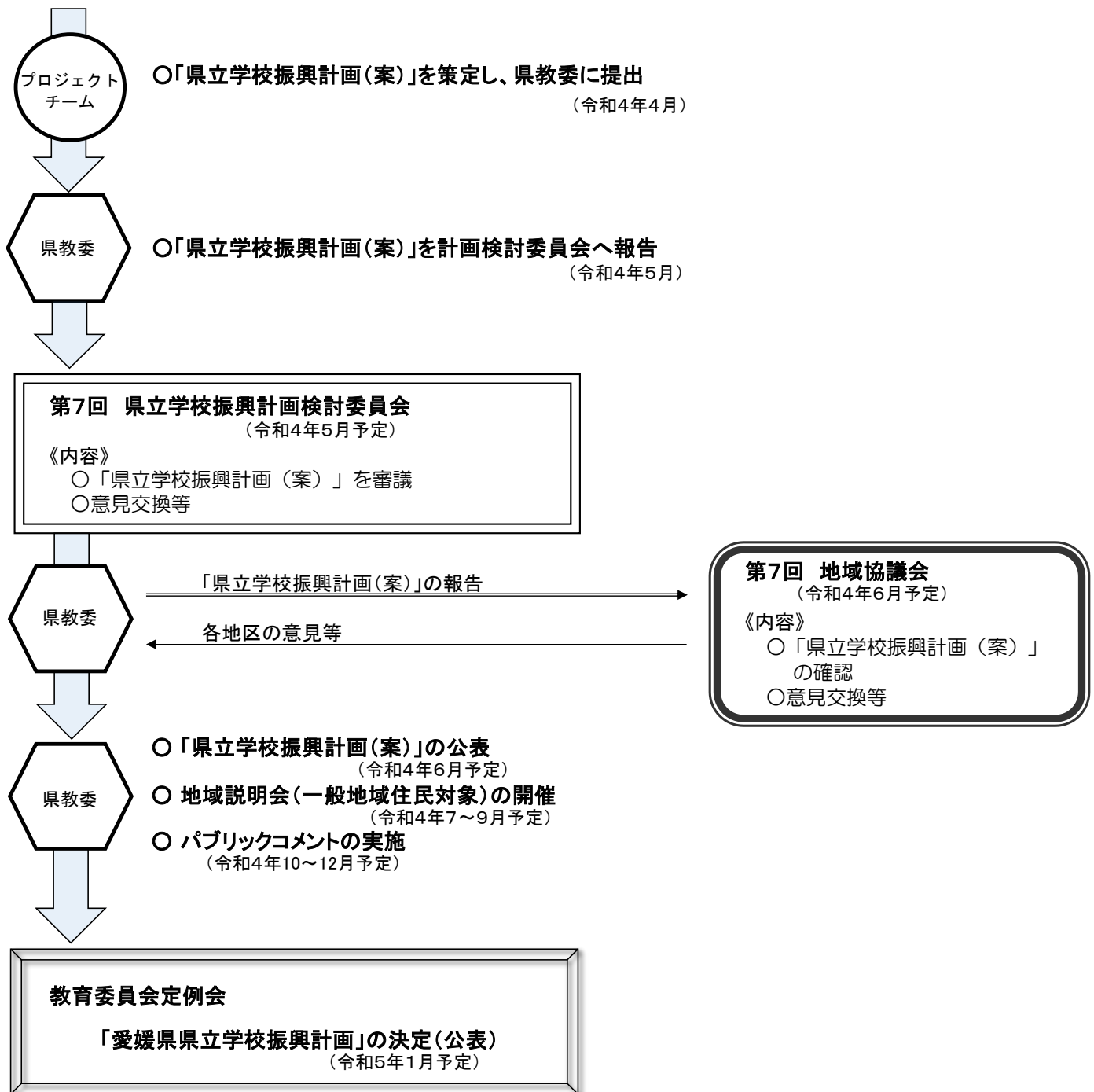
「県立学校振興計画」策定スケジュール（案）

（令和3年度）



令和4年度以降のスケジュール（案）

令和4年度	4月	プロジェクトチームが、【県立学校振興計画(案)】を策定し県教委に提出
	5～6月	「県立学校振興計画(案)」を計画検討委員会で審議するとともに地域協議会へ報告後、公表
	7～9月	地域説明会（一般地域住民対象）を開催
	10～12月	パブリックコメントを実施
	1月	教育委員会定例会で【県立学校振興計画】を決定し公表
令和5年度	4月～	県立学校振興計画の実施



愛媛県県立高等学校再編整備計画

平成15年12月26日

愛媛県教育委員会

はじめに

生徒数減少が続く中、平成12年12月に、愛媛県高等学校教育検討委員会から出された報告書「県立高等学校等における教育の在り方について」において、県立高等学校の再編整備基準が示された。愛媛県教育委員会では、この基準に沿い、具体的な再編整備計画策定に向けて検討を重ねた結果、以下の結論に達した。

1 県立高等学校の現状と課題

- 県内の中学卒業者数は、今後も平成18年3月まで毎年500人～700人規模の大幅な減少が見込まれており、これに伴い県立高等学校入学者も必然的に大幅な減少が予想される。
- 全日制高等学校入学者の減少に伴う定員の削減方法についてはこれまで、1学級の生徒数を45人から40人に減ずることや、学級数を減ずること等により実施してきた。
- その結果、1学年2学級以下の小規模校が13校となって全体の約23%を占め、しかも、そのほとんどの高等学校が定員割れを起こしている。また、島しょ部では、1学年2学級を維持することができない学校が生じており、今後さらに県下で同様の学校が増加する見込みである。
- 学校規模が小さくなることにより、生徒に対するきめ細かで家庭的な指導が可能になる反面、生徒が豊かな人間関係に恵まれた活力ある環境の中で切磋琢磨することができないことや、生徒の多様なニーズにこたえる教育課程の編成が困難になるといった問題も生じており、学校の統廃合を視野に入れた高等学校再編が不可避の状況になっている。
- また、定時制課程についても、ほとんどの学校で恒常的な定員割れの状況にあり、今後も大幅な増加は見込めないことから、統廃合を含め、再編整備を図る必要がある。

2 再編整備計画の方針

愛媛県高等学校教育検討委員会が平成12年12月にまとめた報告書の中で示されている再編整備基準を尊重しながら、県立高等学校の分校化や統廃合、学級減、学科改編を行うこととする。

なお、この再編整備計画については、今後の中学生の進路希望や地域の状況を踏まえ、必要な場合には適宜検討を加える。

再編整備基準

○全日制

1 小規模校の対応

- ・1学年2学級を維持できない状況が2～3年続き、その後も増える見込みがない場合は、分校化を検討
- ・2学科2学級の学校は、入学者が40人以下で、かついずれかの学科が10人を割る状況が2～3年続き、その後も増える見込みがない場合

は、分校化を検討 2 分校の対応 ・ 1 学年 20 人を割る状況が 2 ～ 3 年続き、その後も増える見込みがない場合は、統合等を検討 ○ 定時制 ・ 入学生が本校で 10 人、分校で 5 人を割る状況が 2 ～ 3 年続き、その後も増える見込みがない場合は、統合等を検討
--

3 再編整備計画の期間

平成 16 年度から 20 年度までの 5 年間については、具体的に学校名を示した再編整備計画を策定し、平成 21 年度から 25 年度までの 5 年間については、大まかな再編整備の方向性を参考として資料中（省略）に示すこととする。

4 県立高等学校再編整備計画（平成 16 年～ 20 年）

（1）全日制課程

小規模校の解消

ア 越智郡島しょ部の高等学校の再編整備

○ 大島高等学校

- ・ 平成 8 年度の入学生から 2 学級を維持できなくなっており、将来も増える見込みがないことから、平成 17 年度に今治南高等学校の分校とする。
- ・ 分校となった後、2 年間続けて入学生が 20 人を維持できない場合は、募集停止を検討する。

○ 大三島高等学校

- ・ 平成 11 年度の入学生から 2 学級を維持できなくなっており、将来も増える見込みがないことから、平成 17 年度に今治北高等学校の分校とする。
- ・ 分校となった後、2 年間続けて入学生が 20 人を維持できない場合は、募集停止を検討する。

○ 弓削高等学校

- ・ 再編整備基準によれば、平成 19 年度に分校化の基準に該当することになる。しかし、離島という地域性や町村合併後は新しい町の唯一の高等学校となることを考慮して、できるかぎり存続を図ることとする。その際、学校は分校的取り扱いとするが、校名については、あらためて検討する。

○ 伯方高等学校

- ・ 当分の間 40 人を超える生徒数を確保できる見込みであるため、本校として存続させる。

なお、大島高等学校、大三島高等学校が分校化した場合にも、入学生 20 人を維持できず、数年のうちに募集停止に至る可能性もあることから、この

大島高等学校、大三島高等学校の両校については、16年度の入学実績及び地元中学生や保護者の意向確認を行い、その結果を踏まえて、平成17年度に募集停止とすることも検討する。大島高等学校、大三島高等学校を募集停止とする場合は、伯方高等学校において魅力ある学校づくりを行うため、少人数学級編制による個に手厚い指導、生徒の進路希望に対応した多様な類型・コースの設定、生徒の興味関心に応じた選択科目や地域の特色を生かした学校設定科目の設置等を検討する。そのためには、教員の加配措置や施設設備の整備などが必要である。

イ 越智郡島しょ部以外の高等学校の再編整備

○中山高等学校

- ・ 中山高等学校はこれまで、平成12年度と14年度の入学生が2学科合わせて40人以下となっており、平成16年度以降は連続して40人以下となる見込みである。
- ・ 再編整備基準では「2学科2学級の学校は、入学生が40人以下で、かついずれかの学科が10人を割る状況が2～3年続き、その後も増える見込みがない場合は、分校化を検討する必要がある。」となっている。
- ・ 中山高等学校の場合は今後数年1学科が10人を割る状況にはならないと思われることから、直接的にはこの基準に該当しないが、これに準ずる状況になる見込みであることから、平成18年度からの分校化を検討することが適当である。
- ・ この場合、全国的にも特色ある学科である「特用林産科」を残し、普通科を募集停止して、伊予農業高等学校の分校とする。
- ・ 分校となった後、2年間続けて入学生が20人を維持できない場合は、募集停止を検討する。

○三崎高等学校

三崎高等学校は当面本校として存続させることを基本とするが、3町合併後の入学生が40人を割る状況が2年間続いた場合には、分校化を検討する。

○松山北高等学校中島分校

平成16年度から入学生が20人を割る見込みであり、その後も増える見込みがないため、平成18年度からの募集停止を検討する。

大規模校の解消

再編整備基準の中で高等学校の適正規模は1学年4～8学級とされており、8学級を超える学校の学級を、中学生の卒業見込者数に応じて順次削減することにより、高等学校の規模の適正化を図ることが必要である。

(別紙総括表のとおり)

職業学科の改編

魅力ある職業教育を推進するため、入学定員の削減に併せて学科改編を行うことが必要である。(別紙総括表のとおり)

(2) 定時制課程

○今治西高等学校

衛生看護科は平成14年度から入学生がゼロであるため、平成16年度に同科を募集停止とする。

○今治工業高等学校

電気科は平成15年度の入学生がゼロであり、平成16年度も同様の傾向が見込まれることから、平成17年度に同科を募集停止とする。

○伯方高等学校岩城分校

ここ数年入学生が非常に少なく、平成15年度の生徒数は1学年 平均4.5人となっている。今後の入学生も定時制分校の統廃合基準である5人程度となることが予測されることから、平成17年度からの募集停止を検討する。

○三島高等学校

ここ数年入学生が減少してきており、今後は定時制本校の統廃合基準である10人を割る状況が予測される。また、近隣には生徒の受け皿として、川之江高等学校及び新居浜西高等学校の定時制があることから、平成18年度からの募集停止を検討する。

○野村高等学校土居分校

ここ数年入学生が10人を割る状況にあり、平成15年度は10人を超えたものの今後は減少することが見込まれる。加えて、土居分校の校舎は非常に老朽化しており、近隣地区に校舎が比較的新しい北宇和高等学校日吉分校があることから、平成18年度からの募集停止を検討する。

(3) 別科

○新居浜工業高等学校

産業科は12年度から入学生がゼロであるため、平成16年度に廃止する。

県立高等学校整備計画(前期)総括表(全日制)

()内の数字は、募集定員学級数の減少を示す。

全日制	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
統廃合等する 高校		大島 分校化 (今治南)又は募集 (2→1) 停止 大三島 分校化 (今治北)又は募集 (2→1) 停止 募集停止の場合 伯方高校の魅力度 アップを検討する。	中山 分校化 (伊予農) (2→1) 普通科を募集停止 し、分校とする。 募集 中島分校 停止 (1→0)	弓削(分校取扱い) (2→1)	
学科改編又は 学級減する 高校(職業学 科)	松山工業 (10→9) 商業募集 宇和 停止 (5→4)	西条農業 (5→4) 松山商業 (10→9) 宇和島水産 (4→3) 吉田 (6→5)(工業)	新居浜西 家庭募 (9→8) 集停止 大洲 (6→5)(商業) 八幡浜工業 (4→3)	今治工業 (7→6) 伊予農業 (5→4)	八幡浜 (8→7)(商業)
学級増減をす る高校(普通 科・総合学 科)	土居 (5→4) 小松 (5→4) 今治東 (5→4) 松山南 (11→10) 松山西 (7→5) 宇和島南 (5→4)	新居浜東 (9→8) 今治西 (9→8) 松山西 (5→4) 松山北 (11→10) 内子 (4→3) 野村 (4→3)	三島 (9→8) 新居浜南 (4→3)(総合学科) 西条 (9→8) 松山東 (11→10) 南宇和 (8→7)	西条 (8→9)学級増 宇和島東 (8→7) 川之石 (4→3)(総合学科)	川之江 (9→8) 西条 (9→8)
学校数(本校)	55	53	52	52	52
学校数(分校)	2	4	5	5	4
学級数	311	299	289	285	282

県立高等学校整備計画(前期)総括表(定時制及び別科)

定時制・別科	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
定時制	今治西 (衛生看護科) 募集停止	今治工業 (電気科) 募集停止 伯方高校岩城分 校 募集停止	三島 募集停止 野村高校土居分 校 募集停止		
別科	新居浜工業 廃止				

愛媛県県立学校再編整備計画

平成20年8月

愛媛県教育委員会

I 県立高等学校の再編整備計画

はじめに

平成19年11月に、愛媛県県立学校再編整備計画検討委員会から、少子化の進行に伴う入学者の大幅な減少や学校の小規模化に伴う教育水準等の低下、市町村合併に伴う地域事情の変化や県の財政状況の悪化など、学校を取りまく環境の大きな変化に対応するため、新たな高等学校の再編整備基準が示された。

愛媛県教育委員会では、この報告を受けて、具体的な県立高等学校の再編整備計画の策定に向けて検討を行った結果、以下の結論に達した。

1 県立高等学校の現状と課題

(1) 生徒数の減少

本県の中学校卒業生数については、大幅な減少が続いており、今後は、幾分、減少数が緩やかになるものの、平成20年3月の中学校卒業生は13,835人であるが、平成30年3月には約11,770人となる見込みであり、約2,065人の減少が見込まれることから、依然として減少傾向が続くものと予想される。(中学校卒業生数は中等教育学校卒業生数を除く。)

入学生数の減少に伴う高校の小規模化が進むと、教育活動や部活動が困難になるほか、生徒の多様な進路希望に対応する教育課程の維持が困難になったり、生徒同士が切磋琢磨する機会が減少するなどの問題が生じる。

(2) 生徒の多様化

高校生の学習意欲や目的意識、関心や進路希望などは多様化していることから、生徒一人ひとりが充実した学校生活を送り、それぞれの夢の実現を図ることができるように、多様な教育環境を整備する必要がある。

(3) 市町村合併の進行

市町村合併の進行により、行政、産業、交通など、地域や学校を取りまく環境は大きく変化しており、従来の1市町村1高等学校の配置から、全県的な視野に立って、県立高等学校の配置の在り方を見直す必要が生じている。

(4) 県財政の悪化

厳しい財政状況の中、県立高等学校の運営に要する予算も削減を余儀なくされており、学校経営の面からも効率化を図ることが必要である。

2 再編整備基準

愛媛県県立学校再編整備計画検討委員会が、平成19年11月にまとめた報告書の中で示している再編整備基準(別紙参照)のとおりとする。

3 再編整備計画の方針

今後の各校への入学生数の推計や全県的な見地に立った学校配置、通学の利便性や教育水準・教育効果への影響等を勘案し、再編整備基準に基づき、定員の引き下げや分校化、分校の募集停止や同一地域内の統合等を行う。

4 再編整備計画の状況に応じた検討

当計画については、今後の中学生の進路状況や地域の状況、社会状況の変化などを踏まえ、適宜、検討を加えるものとする。

5 再編整備計画の期間

計画の期間は、平成21年度から平成25年度までの間とする。

6 再編整備計画

(1) 全日制課程

① 小規模校の定員引き下げ

中学生卒業生数や入学生の動向を勘案し、小規模校の定員引き下げの基準に該当するものと見込まれる学校については、適宜、定員の引き下げを行う。

○対象校

8校（伯方高等学校、中山高等学校、上浮穴高等学校、長浜高等学校、三崎高等学校、三間高等学校、三瓶高等学校、小田高等学校）

② 小規模校の分校化

○上浮穴高等学校

入学生が少ない状況が継続しており、平成23年度にも再編整備基準の要件を満たすことが見込まれることから分校化を行う。

○長浜高等学校

入学生が少ない状況が継続しており、平成23年度にも再編整備基準の要件を満たすことが見込まれることから分校化を行う。

○三瓶高等学校

入学生が少ない状況が継続しており、平成24年度にも再編整備基準の要件を満たすことが見込まれることから分校化を行う。

○三崎高等学校

入学生が少ない状況が継続しており、平成25年度にも再編整備基準の要件を満たすことが見込まれることから分校化を行う。

③ 分校の募集停止

○今治北高等学校大三島分校

平成19年度以降、入学生が30人以下の状況が継続しており、平成22年度にも再編整備基準の要件を満たすことが見込まれることから募集停止を行う。

○松山北高等学校中島分校

通学環境等を考慮し、特例として、当面は旧基準を適用し存続を図ることとするが、地元からの入学生も極めて少ない状態が継続しており、現状のままで推移するのであれば、平成24年度には募集停止を行う。

④ 同一地域内における統合等

○伊予地域

・中山高等学校・伊予農業高等学校

中山高等学校は2学科2学級の学校であるが、2学科とも定員割れの状況が常態化しており、教育水準や教育効果の維持向上に支障が生じている。

また、地元からの入学生も極めて少ない状況が継続している。特に、平成20年度は地元からの入学生がいない状況になっている。

このようなことから、平成23年度に、全国的にも特色のある「特用林産科」を近隣の伊予農業高等学校に統合（1学科増）し、同科の存続を図るものとする。ただし、普通科については募集停止とする。

○宇和島地域

・三間高等学校・北宇和高等学校・宇和島東高等学校

三間高等学校は2学科2学級の学校であるが、2学科とも定員割れの状況が常態化しており、教育水準や教育効果の維持向上に支障が生じている。

また、地元からの入学生も極めて少ない状況が継続している。

このようなことから、平成24年度に、「農業機械科」を近隣の北宇和高等学校に統合（1学科増）し、地域における農業教育の充実強化を図るとともに、普通科については、宇和島東高等学校の普通科の定員を維持することで、地域内の普通科志望者の学習機会の確保に努める。

○西条地域

・東予高等学校

平成13年度に、新たに普通科を設置し、普通科と工業科の併置校となったが、普通科は、設置以来、毎年度定員を大きく割り込む状況が続いており、教育水準や教育効果の維持向上に支障が生じている。

このようなことから、平成23年度に、普通科を募集停止とし、工業科の単独校として、地域における工業教育の充実強化を図る。

- ・西条地域における農業教育についてのあり方を検討し、必要であれば統合を検討する。

⑤ 生徒数の減少に伴う学級減

県内を9地域にわけ、今後の各地域における中学校卒業者を推計し、生徒数の減少に見合った学級の削減を行う。なお、学級削減の対象となる学校については、過去の削減状況や中学生の進学希望の動向などを踏まえ、毎年度の定員策定時に決定する。

○削減学級数

- 12学級（四国中央地域1学級、西条地域1学級、松山・伊予・上浮穴地域6学級、今治・越智地域1学級、西予地域1学級、宇和島・南宇和地域2学級）

（2）定時制課程

① 募集停止

○北宇和高等学校日吉分校

入学生が極めて少ない状況が継続しており、既に旧基準でも募集停止の要件を満たす状況となっていることから、平成21年度に募集停止を行う。

○大洲高等学校肱川分校

入学生が極めて少ない状況が継続しており、平成23年度にも再編整備基準の要件を満たすことが見込まれることから募集停止を行う。

○西条高等学校

入学生が極めて少ない状況が継続しており、平成24年度にも再編整備基準の要件を満たすことが見込まれることから募集停止を行う。

（3）その他の課程

再編整備基準のとおり、現行制度を維持する。

（4）適正規模、入学定員、魅力ある学校づくり等

再編整備基準のとおり、実施に努める。

7 再編整備計画を進めるに当たっての措置

（1）通学費に対する支援

島しょ部等の通学不便地にある高校を募集停止とする場合は、保護者の経済的負担の軽減を図り、学習機会を確保するため、その地域の子供たちが最寄の県立学校に通学するために必要な交通費等に対する補助制度の創設を

検討する。

(2) 分校化の対象となる高校の取扱い

地域に根ざした 1 市町 1 校のような高校が、分校化の対象となるような場合は、校長や事務長は他校からの兼務とするものの、学校名はそのまま残すなどの取扱いを検討する。

県立高校再編整備計画総括表

○ 全日制

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
小規模校の 定員 引き下げ	伯方 (普通) 2 中山 (普通) 1 (農業) 1 上浮穴 (普通) 1 (農業) 1 長浜 (普通) 2	三崎 (普通) 2 三瓶 (普通) 2 三間 (普通) 1 (農業) 1		小田 (普通) 2	

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
小規模校の 分校化			上浮穴 (普通) 1 (農業) 1 長浜 (普通) 2	三瓶 (普通) 2	三崎 (普通) 2

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
分校の 募集停止		大三島分校 (普通) 1→0		中島分校 (普通) 1→0	
同一 地域内に おける 統合等			東予 (普通) 1→0 (工業) 3→3 伊予農業 (農業) 5→6 中山 (普通) 1→0 (農業) 1→0	北宇和 (普通) 2→2 (農業) 1→2 三間 (普通) 1→0 (農業) 1→0 〔宇和島東(普通)学級数維持〕	
生徒数の 減に伴う 学級増減	四国中央地域 1学級減 松山・伊予・上浮穴地域 3学級減		西条地域 1学級減 今治・越智地域 1学級減 松山・伊予・上浮穴地域 3学級減 西予地域 1学級減 宇和島・南宇和地域 2学級減		
学校数(本校) (うち募集停止中)	49 (0)	49 (0)	47 (1)	46 (2)	44 (1)
学校数(分校) (うち募集停止中)	4 (0)	4 (1)	6 (1)	6 (1)	7 (1)
学級数	265	264	254	252	252

※ 西条地域における農業教育についてのあり方を検討し、必要であれば統合を検討する。

○ 定時制

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
定時制の 募集停止	日吉分校 (農業) 1→0		肱川分校 (普通) 1→0	西条 (普通) 1→0	
学校数 (うち募集停止中)	14 (4)	13 (3)	11 (2)	10 (2)	10 (2)
学級数	11	11	10	9	9

県立高等学校の再編整備基準

項 目		新 基 準
適正配置・適正規模		1 学年 4 学級～8 学級を基本とする。 市町村合併の進行や交通事情の進展により、全県的な見地から、適正配置に努める。 特に、職業学科については、全県的なバランスを考慮し、集約に努める。
全 日 制 課 程	大規模校の解消	当面、適正規模である 8 学級規模を目指して学級の削減に努める。
	小規模校の定員引き下げ	入学生が 60 人以下の状況が 2 年続き、その後も増える見込みがない場合は、1 学科 2 学級の学校は 1 学級の定員を 30 人、2 学科 2 学級の学校は 1 学科の定員を 30 人とし、1 学年の定員を 60 人とした上で、本校として存続させる。
	小規模校の分校化	1 学年の入学生が 40 人以下の状況が 2 年続き、その後も増える見込みがない場合は分校化を行う。 なお、定員については、1 学科 2 学級、2 学科 2 学級の学校ともに、1 学年の定員 60 人を維持する。
	分校の募集停止	1 学年の入学生が 30 人以下の状況が 2 年続き、その後も増える見込みがない場合は募集停止を行う。 （特例）通学環境を考慮し、弓削高等学校及び松山北高等学校中島分校については、入学生が 20 人未満の状況が 2～3 年続き、その後も増える見込みがない場合は募集停止を行うという旧基準を適用する。
	同一地域内における統合等	同一市町又は隣接する市町に同一学科を設置する学校が複数存在し、統合により教育水準の維持や教育効果が向上すると認められる場合は、本校の統合等を検討する。
定時制課程		普通科は入学生が 10 人未満、職業学科は入学生が 5 人未満の状況が 2 年続き、その後も増える見込みがない場合は募集停止を行う。 普通科については、当面、5 圏域（西条、今治、松山、八幡浜、宇和島）ごとに 1 校は存続させる。
通信制課程		現行制度を維持する。
専攻科		現行制度を維持する。
競 争 倍 率 等	競争倍率	近年の県平均競争倍率の動向を勘案し、1.03 倍程度を維持する。
	公私比率	公私比率（公立 79：私立 21）にとらわれず、県立高等学校の適度な競争倍率の維持が可能となる定員を設定する。
	通学区域（普通科）	当面は、「通学区域：東・中・南予、区域外の入学者割合：5%」を維持する。全県 1 区への移行については、今後、必要に応じて検討する。
	普職比率	「普通科 7：職業学科 3」を定員の設定を行う際の目安とし、弾力的な対応を行う。
魅力ある学校づくり		魅力ある学校づくりを進めるため、特に職業学科を有する学校においては、学校ごとに自治体や地域住民を含めた検討委員会を設けるなどの手法により、生徒のニーズに合った学科やコース等の設置について検討を行う。

Ⅱ 県立特別支援学校の再編整備計画について

はじめに

学校教育法等の一部を改正する法律が平成19年4月1日に施行され、これまでの盲・聾・養護学校の制度が複数の障害に対応できる特別支援学校の制度に転換されるなど、特別支援教育が本格的にスタートした。また、近年、知的障害の特別支援学校高等部生徒の大幅な増加の外、視覚・聴覚障害の特別支援学校児童生徒の少人数化、重度・重複化、多様化傾向などが進んでいる。

こうした状況の中、平成19年11月に、愛媛県県立学校再編整備計画検討委員会から障害のある幼児児童生徒の教育的ニーズに適応した教育の充実を図るため、県立特別支援学校の再編整備計画の報告書が提出された。

愛媛県教育委員会では、この報告を受けて、具体的な県立特別支援学校の再編整備計画の策定に向けて検討を行った結果、以下の結論に達した。

1 県立特別支援学校を取りまく課題

現在本県に設置している県立特別支援学校は、本校7校と分校6校（休校1）の13校である。特別支援学校の児童生徒数を障害種別にみると、視覚障害、聴覚障害、肢体不自由・病弱については、横ばいもしくは減少傾向にあり、知的障害が増加している。

各学校の状況は、次のとおりである。

（1）しげのぶ特別支援学校（162名在籍）

近年の肢体不自由の在籍児童生徒数は横ばいであるが、小・中学部における重複障害の児童生徒は増加しており、特に、医療的ケアを要する者が増加している。

病弱の在籍児童生徒数は少人数であるが、原因疾患が、従来の腎疾患、ぜんそく等から、最近では心身症の割合が増加するなど多様化している。

（2）松山盲学校（55名在籍）

幼稚部、小学部、中学部の在籍者数は少人数であるが、高等部の本科と専攻科の生徒が在籍者数全体の8割以上を占めている。

（3）松山聾学校（41名在籍）

幼児児童生徒数は減少しており、学習集団を確保することが課題となっている。高等部の理容科は、卒業時に国家試験受検資格を取得できるが、産業工芸科と被服科については、産業構造の変化に伴い、現在行われている教育内容と社会のニーズとの間に隔たりが生じてきており、学科改編が課題となっている。

（4）宇和聾学校（15名在籍）

幼児児童生徒数は著しく少人数であり、学習集団を確保することが課題となっている。また、寄宿舎生も少人数のまま推移している。

（5）宇和養護学校（151名在籍）

児童生徒数は横ばい状況であるが、高等部の生徒数の割合は、増加傾向にある。

（6）第三養護学校（309名在籍）

県立特別支援学校の中で、最も児童生徒数が多い。児童生徒数は増加しており、特に高等部生徒の増加が著しい。この傾向が今後も続くことが予測されるので、それに対応

するために、早急に他に高等部教育の場を整備するなどして、学校規模の適正化を図ることが課題となっている。

(7) 今治養護学校 (283名在籍)

第三養護学校に次いで児童生徒数が多い。

児童生徒数は増加しており、特に高等部生徒の増加が著しい。この傾向が今後も続くことが予測されるので、早急に他に高等部教育の場を整備に努めていく必要がある。

(8) 今治養護学校新居浜分校 (49名在籍)

平成18年4月に開校し、小学部と中学部のみが設置されている。児童生徒数が開校時に比べて2年間で2.1倍になり、今後も児童生徒数の増加が予想される。

(9) 知的障害児施設内分校

児童生徒数が少人数で推移しており、障害に対応した専門的教育の充実や学習集団を確保することが課題となっている。

第三養護学校日野学園分校は、平成10年4月から休校中である。

2 計画の期間

計画の策定期間は、平成21年度から平成25年度までの間とする。

3 特別支援学校の再編整備

(1) 再編整備の基本的在り方

障害のある幼児児童生徒一人一人の教育的ニーズに対応した適切な指導及び必要な支援を行うため、学校教育法の一部改正にともなう、複数の障害種に対応できる特別支援学校の制度化を踏まえ、本県の特別支援学校を再編整備し、特別支援教育の充実と効率的な学校経営に努める。

(2) 再編整備の基本方針

- ① 障害の重度・重複化に対応するという特別支援学校制度の趣旨に照らし、複数の障害への対応を視野に入れる。
- ② 各障害種別ごとの専門性を確保し、専門的指導により幼児児童生徒の能力を可能な限り伸ばすことができるようにする。
- ③ きめ細かで活気ある教育活動を行うため、同一障害の幼児児童生徒による学習集団の規模の適正化を図る。
- ④ 将来の自立や社会参加を促進するため、重要な教育の場である高等部教育の充実を図る。
- ⑤ 厳しい財政状況が続く中、学校運営の効率化に配慮するとともに、再編に伴い必要となる通学手段の確保に努める。
- ⑥ 学校名称は、〇〇特別支援学校を基本とする。(各校の名称は、現校名を含め、今後検討する。)

(3) 再編整備計画

① しげのぶ特別支援学校

現行どおり肢体不自由児と病弱児の複数の障害種別を対象とする。

② 松山盲学校

計画期間内での統合は見送るが、新たな特別支援教育の目的や児童生徒の少人数化

に伴う学校運営の効率化、校舎等教育条件の改善を踏まえ、松山聾学校との統合の方向性は維持する。

今後、関係者の理解を図りながら、引き続き検討する。

③ 松山聾学校

ア 計画期間内での統合は見送るが、新たな特別支援教育の目的や児童生徒の少人数化に伴う学校運営の効率化等を踏まえ、松山盲学校との統合の方向性は維持する。

今後、関係者の理解を図りながら、引き続き検討する。

イ 知的障害高等部の新設については、関係者の意見を十分考慮しながら平成24年度から実施する。

ウ 高等部の被服科と産業工芸科を平成21年度に募集停止し、同時に普通科を新設するとともに、理容科と併せて2学科とする。

④ 宇和聾学校、宇和養護学校

ア 両校の学校組織を平成21年度に統合し、「聴覚障害部門」「知的障害部門」を設置する。

イ 学校施設は、現行どおり宇和養護学校の施設は「知的障害部門」、宇和聾学校の施設は「聴覚障害部門」とする。

ウ 少人数になっている宇和聾学校寄宿舎を、宇和養護学校寄宿舎に統合する。

エ 高等学校の空教室を利用した、宇和島以南の知的障害児を対象とする高等部分教室の設置の可能性を平成22年度から検討する。

⑤ 第三養護学校

ア 現行どおり、知的障害児のみを対象とする。

イ 平成24年度から松山聾学校に知的障害高等部を新設することにより、第三養護学校の大規模化を解消する。

⑥ 今治養護学校

ア 当面は現行どおり、知的障害児のみを対象とする。

イ 新居浜分校は、新居浜保健サービスステーションの廃止に伴い、平成21年度から高等部を設置する。

また、将来的に本校として充実を図る方向で検討する。

⑦ 知的障害児施設内分校

ア スクールバス等、本校や新居浜分校への通学手段を確保したうえで、太陽の家分校は平成21年度に廃止し新居浜分校へ統合、東予学園分校、野村学園分校、大洲学園分校は、平成22年度に廃止し本校へ統合する。

イ 現在休校中の日野学園分校は、平成21年度に廃止する

県立特別支援学校再編整備総括表

現学校名	部	対象とする 障害 地域		平成21 年度	平成22 年度	平成23 年度	平成24 年度	平成25 年度
松山 盲学校	幼 小	視覚障害		松山聾学校との統合は見送るが、その方向性は維持し、 関係者の理解を図りながら、継続して検討していく。				
	中 高 専	県下全域						
松山 聾学校	幼 小 中 高	聴覚 障害	高等部段階の知的 障害	高等部学科改編				
		主として 中予・ 東予	主として松山市北部	産業工芸科・被服科募集停止、 普通科新設	高等部段階の 知的障害児の 受け入れ			
宇和 聾学校	幼 小 中 高	聴覚 障害	知的 障害	学校組織統合 寄宿舎統合	知的障害児 を対象とした 高等部分教 室設置可能 性の検討			
宇和 養護学校	小 中 高					主として南予		
第三 養護学校	小 中 高	知的障害						
		主として中予						
今治 養護学校	小 中 高	知的障害						
		主として今治管内、 旧東予市、周桑郡						
新居浜 分校	小 中	知的障害		高等部設置				
		主として四国中央 市、新居浜市、 旧西条市						
しげのぶ 特別支援 学校	幼 小 中 高	肢体不 自由	病弱					
		県下全域						
太陽の家 分校	小 中	知的障害		通学手段の 確保と分校廃 止				
東予学園 分校	小 中	知的障害			通学手段の 確保と分校廃 止			
日野学園 分校	休 校 中	知的障害		分校の廃止				
大洲学園 分校	小 中	知的障害			通学手段の 確保と分校廃 止			
野村学園 分校	小 中	知的障害			通学手段の 確保と分校廃 止			

県立高校再編整備について

平成 24 年 10 月以降の全日制高校の再編整備については、次のとおりとします。

- 1 再編整備基準(以下、「基準」という。)に掲げる入学生数に該当した年度から、3 年間（実質的な期間は 2 年間）を限度として、地域一体となって入学生増加に向けた取組を進めるための猶予期間を設定する。

《地域一体となった取組》

- ① 地元地域住民、市町、中学校、高校などを構成員とする取組組織を結成
- ② 学校の存続と活性化に向けた具体的な計画を策定
- ③ 計画に基づき取組を実施

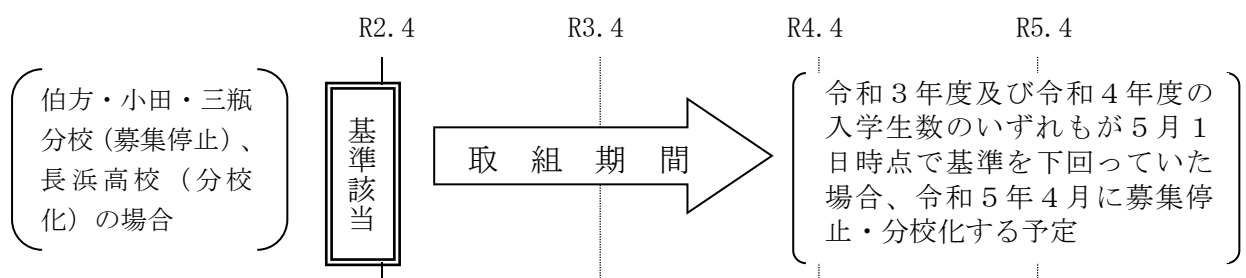
- 2 取組にもかかわらず、基準を達成できなかった場合は、再編を実施する。

【参考】令和 2 年度基準該当校

学校名	再編項目	基準該当年度	猶予期間
三 間 高 校	分 校 化	平成 30・令和元・2 年度	平成 30～令和 2 年度
津 島 高 校	分 校 化	平成 30・令和元・2 年度	平成 30～令和 2 年度

3 年連続して基準に該当した三間高校・津島高校は、令和 3 年 4 月に分校とする予定です。

学校名	再編項目	基準該当年度	猶予期間
今治西高校 伯方分校	募集停止	令和 2 年度	令和 2～4 年度
内子高校 小田分校	募集停止	令和 2 年度	令和 2～4 年度
宇和高校 三瓶分校	募集停止	令和 2 年度	令和 2～4 年度
長浜高校	分校化	令和 2 年度	令和 2～4 年度



県立高等学校の再編整備基準（H20.8）（抜粋）

項 目		基 準	過去の該当校（年度）	備 考
全 日 制 課 程	小規模校の定員引き下げ	入学生が60人以下の状況が2年続き、その後も増える見込みがない場合は、1学科2学級の学校は1学級の定員を30人、2学科2学級の学校は1学科の定員を30人とし、1学年の定員を60人とした上で、本校として存続させる。	津島高校（H30～）	
	小規模校の分校化	1学年の入学生が40人以下の状況が2年続き、その後も増える見込みがない場合は分校化を行う。 なお、定員については、1学科2学級、2学科2学級の学校ともに、1学年の定員60人を維持する。	伯方高校（H31～） 小田高校（R2～） 三瓶高校（R2～） ※三崎高校（R2～）は国の事業の指定により見送り	※三間高校、津島高校は、R3年度から分校化の予定
	分校の募集停止	1学年の入学生が30人以下の状況が2年続き、その後も増える見込みがない場合は募集停止を行う。 （特例）通学環境を考慮し、弓削高等学校及び松山北高等学校中島分校については、入学生が20人未満の状況が2～3年続き、その後も増える見込みがない場合は募集停止を行うという旧基準を適用する。	なし	※大三島、中島はH29、H30と2年連続して基準に該当したが、H31に基準をクリアし、R2からの募集停止を回避

※平成24年10月に、3年間の猶予期間が設定されている（いわゆるチャレンジシステム）。

再編整備基準該当校の状況

（網掛の学校は今年度の該当校、網掛の入学生数は該当年度、網掛の基準該当年度は今年度までの連続。）

学 校 名	再編項目	入学生数（年度）										必要な入学生数	基準該当年度
		24	25	26	27	28	29	30	元	2			
今治西 伯 方	分校化（～30）	59	32	56	46	37	33	35				41人以上	25・28・29・30
	募集停止（元～）								34	21		31人以上	2
今治北 大三島	募集停止	17	14	34	33	34	29	15	40	40		31人以上	24・25・29・30
弓 削	募集停止	23	14	29	15	21	28	29	29	30		20人以上	25・27
松山北 中 島	募集停止	19	25	20	25	26	18	18	39	30		20人以上	24・29・30
上浮穴	分校化	48	52	38	45	46	37	44	48	53		41人以上	26・29
長 浜	分校化	38	52	55	40	42	37	44	41	37		41人以上	24・27・29・2
内 子 小 田	分校化（～元）	38	41	50	27	49	34	34	18			41人以上	24・27・29・30・元
	募集停止（2～）									16		31人以上	2
三 崎	分校化	25	41	39	29	61	34	26	30	57		41人以上	24・26・27・29・30・元
宇 和 三 瓶	分校化（～元）	44	38	46	29	46	28	25	19			41人以上	25・27・29・30・元
	募集停止（2～）									6		31人以上	2
三 間	分校化	40	52	60	42	37	42	33	20	35		41人以上	24・28・30・元・2
津 島	定員引き下げ（～29）	69	49	68	38	38	41					61人以上	27・28・29
	分校化（30～）							34	21	26		41人以上	30・元・2

令和2年度 第1学年在籍者数

(県立高校/全日制)

	学校名		大学科	第1学年	
				学級数	在籍者数
1	川之江		普通	5	180
2	三島		普通	6	230
			商業	1	38
3	土居		普通	3	84
4	新居浜東		普通	7	244
5	新居浜西		普通	7	280
6	新居浜南		総合学科	3	93
7	新居浜工業		工業	5	173
8	新居浜商業		商業	4	143
9	西条		普通	5	200
国際文理			1	40	
商業			1	39	
10	西条農業		農業	3	70
11	小松		普通	3	106
家庭			1	29	
12	東予		工業	3	77
13	丹原		普通	3	85
農業			1	22	
14	今治西	本校	普通	8	285
15		伯方	普通	1	21
16	今治南		普通	5	171
農業			1	25	
17	今治北	本校	普通	5	201
		商業	2	73	
18		大三島	普通	1	40
19	今治工業		工業	5	161
20	弓削		普通	1	30
21	北条		総合学科	3	93
22	松山東		普通	9	360
23	松山南	本校	普通	8	320
			理数	1	43
24		砥部	工業	1	34
25	松山北	本校	普通	9	360
26		中島	普通	1	30
27	松山中央		普通	9	361
28	松山工業		工業	8	316
29	松山商業		商業	9	361
30	東温		普通	6	207
			商業	2	64
31	上浮穴		普通	1	30
			農業	1	25
32	伊予農業		農業	6	207
33	伊予		普通	5	180
34	大洲		普通	3	120
			商業	1	38
35	大洲農業		農業	2	79
36	長浜		普通	2	37
37	内子	本校	普通	3	91
38		小田	普通	1	16
39	八幡浜		普通	4	154
			商業	1	31
40	八幡浜工業		工業	2	77
41	川之石		総合学科	3	100
42	三崎		普通	2	57
43	宇和	本校	普通	2	43
44			農業	1	22
45		三瓶	普通	1	6
	野村		普通	1	38
			農業	1	19
46	宇和島東		理・普	4	162
			商業	3	120
47	宇和島水産		水産	3	54
48	吉田		普通	2	58
			工業	2	60
49	三間		普通	1	13
			農業	1	22
50	北宇和		普通	2	58
			農業	1	33
51	津島		普通	1	26
52	南宇和		普通	3	93
			農業	1	20
	合 計			224	7,778

(県立高校/定時制)

	学校名	大学科	第1学年	
			学級数	在籍者数
1	川之江	普通	1	15
2	新居浜西	普通	1	10
3	西条	普通	1	13
4	今治西	普通	1	7
5	松山南	普通	1	15
6	松山工業	工業	2	8
7	松山商業	商業	1	4
8	大洲(肱川)	普通	1	3
9	八幡浜	普通	1	9
10	宇和島東	普通	1	3
合 計			11	87

(県立高校/通信制)

	学校名	大学科	第1学年	
			学級数	在籍者数
1	松山東	普通	6	120

(県立中等教育学校)

	学校名	大学科	第4学年	
			学級数	在籍者数
1	今治東	普通	4	125
2	松山西	普通	4	153
3	宇和島南	普通	4	152
合 計			12	430

(国立高校/全日制)

	学校名	大学科	第1学年	
			学級数	在籍者数
1	愛媛大学附属	総合	3	122

(私立高校/全日制)

学校名		大学科	第1学年		
			学級数	在籍者数	
1	今治明德	本校	普通	4	81
2		矢田	普通	1	23
3	今治精華	普通	2	66	
		調理	1	21	
4	済美	普通	15	569	
		美術	1	28	
5	聖カタリナ	普通	2	61	
		総合	5	172	
		看護	2	62	
6	松山東雲	普通	4	106	
7	松山城南	普通	3	80	
		調理	2	64	
		商業	1	20	
		看護	1	17	
		福祉	1	27	
8	新田	普通	16	614	
		工業技術	2	47	
9	愛光	普通	5	253	
10	松山聖陵	普通	7	215	
		工業	4	110	
11	帝京第五	普通	1	15	
		看護	1	33	
		総合	2	64	
12	帝京富士	普通	-	-	
合 計				83	2,748

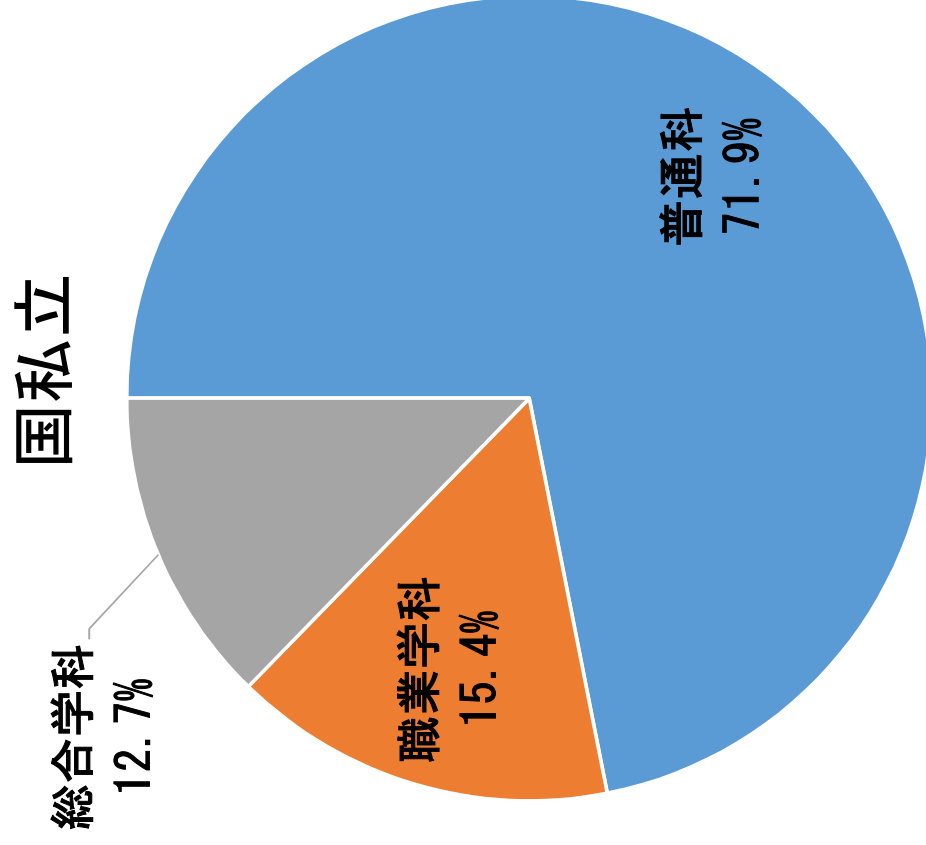
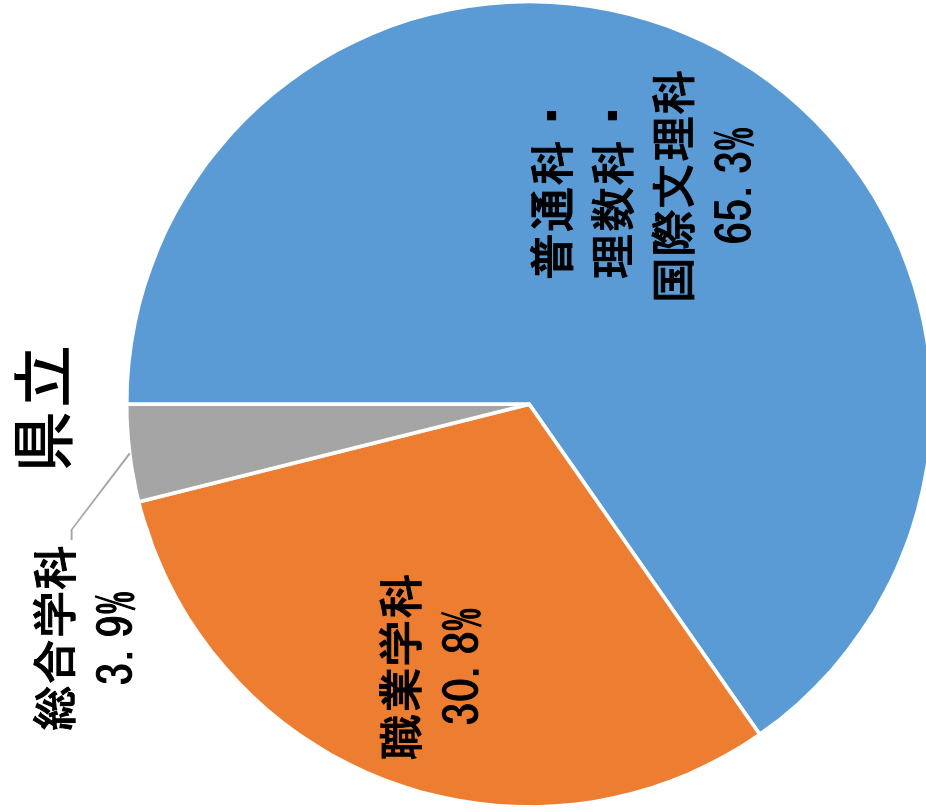
(私立高校/通信制)

学校名		大学科	第1学年		
			学級数	在籍者数	
1	今治精華	普通	5	72	
2	日本ウェルネス	普通	5	175	
3	未来	本校	普通	4	478
4		新居浜	普通	4	29
合 計			18	754	

(私立中等教育学校)

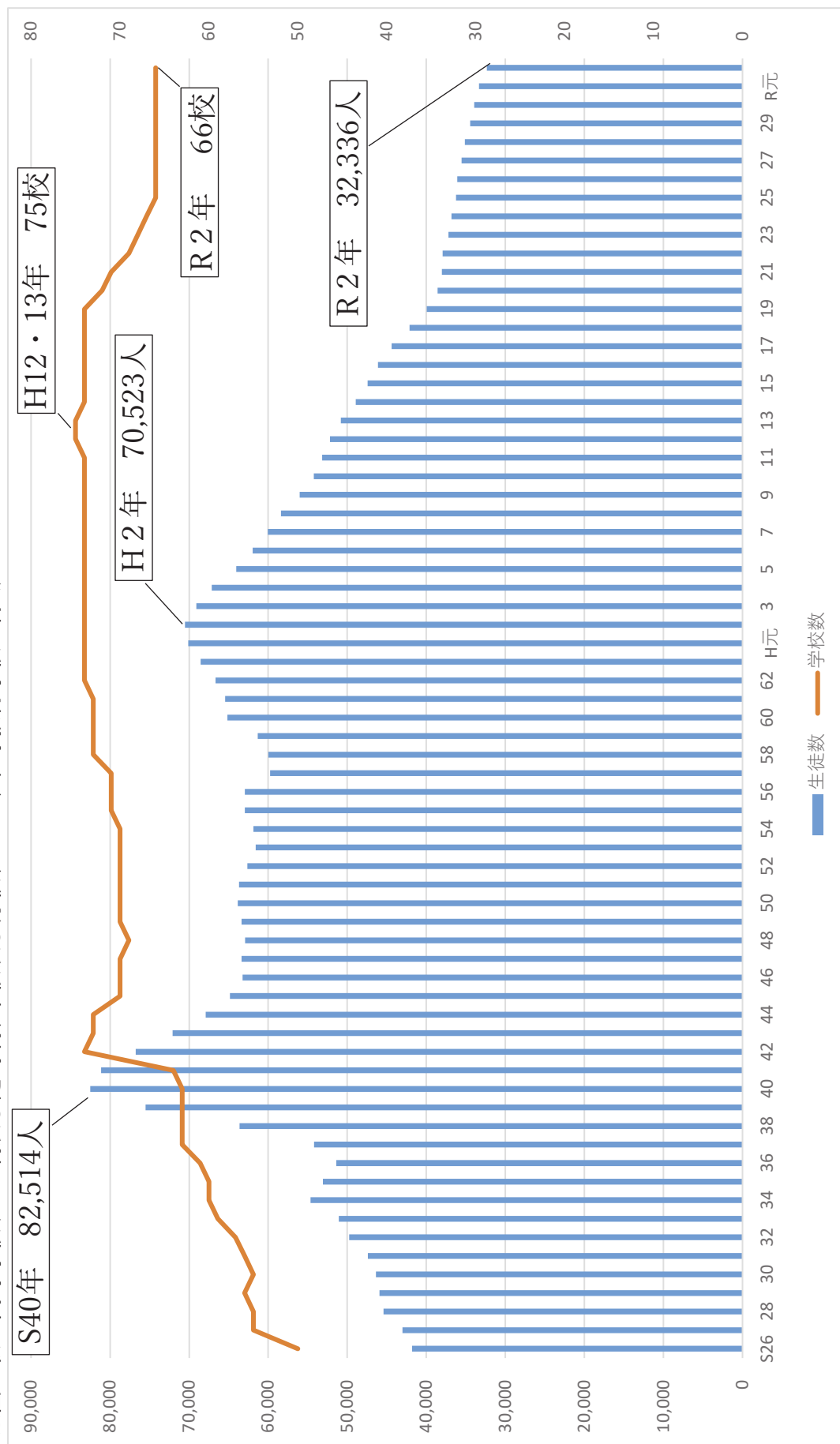
	学校名	大学科	第4学年	
			学級数	在籍者数
1	済美平成	普通	4	119
2	新田青雲	普通	2	50
合 計			6	169

生徒数の学科別構成率（本県、全日制高校、本校及び分校）

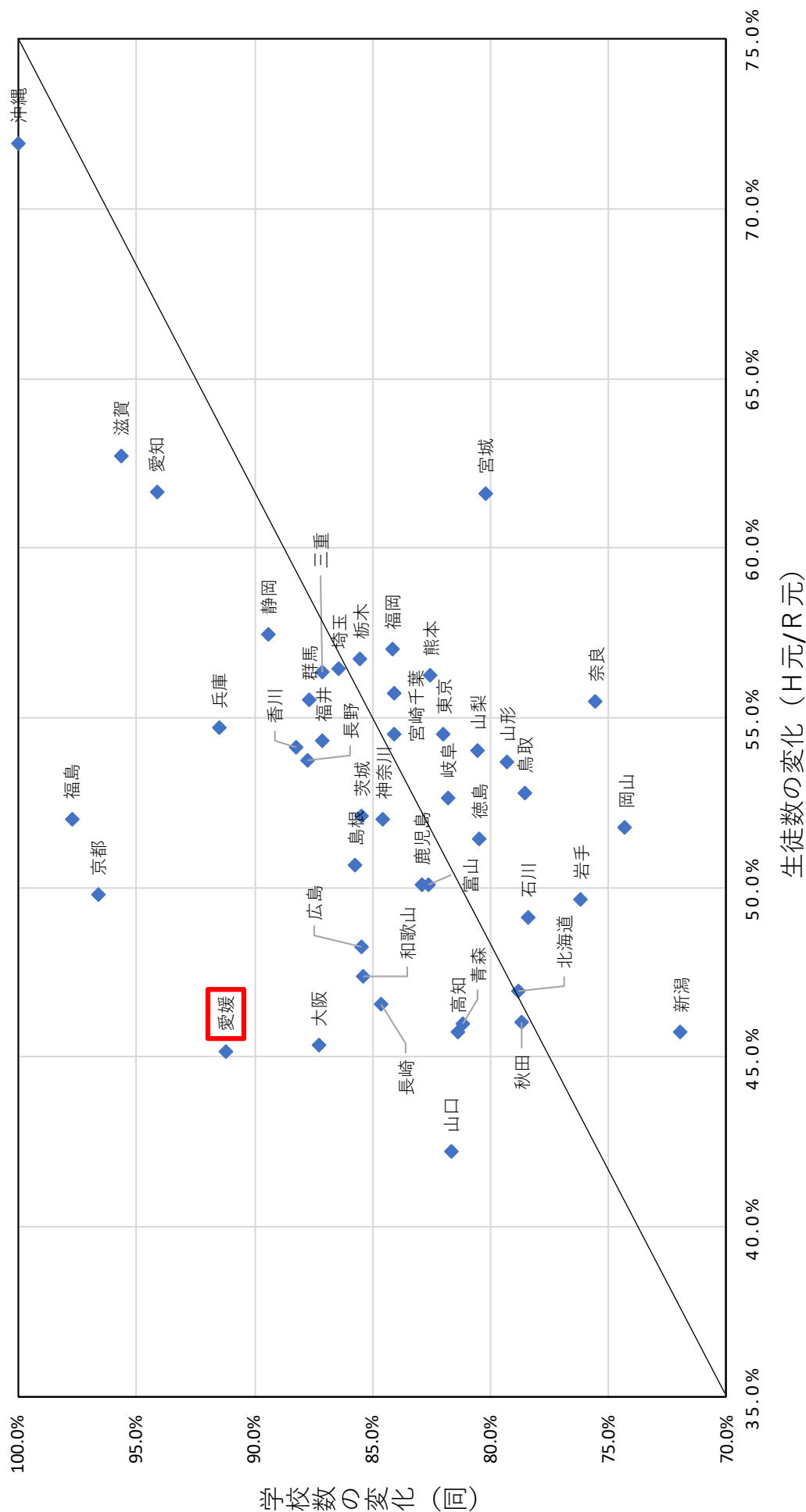


本県の高等学校在籍生徒数及び学校数の推移(S26～R2)

※国公立高等学校(全日制及び定時制、本校及び分校、ただし、中等教育学校は除く)



生徒数と学校数の変化（公立全日制、本校及び分校） ※H元/R元比較



県立高等学校入学者選抜実施状況（全日制、本校及び分校、一般入試）

年度	中学校卒業生	募集定員	志願者数	志願倍率
R2	10,787	9,185	8,030	0.87
31	11,388	9,225	8,576	0.93
30	12,469	9,305	8,545	0.92
29	12,873	9,365	8,790	0.94
28	13,189	9,365	9,212	0.98
27	13,135	9,365	9,323	1.00
26	13,603	9,565	9,617	1.01
25	13,827	9,765	9,972	1.02
24	13,854	9,925	9,898	1.00
23	13,680	10,085	9,848	0.98
22	14,430	10,465	10,587	1.01
21	14,117	10,505	10,457	1.00
20	14,501	10,745	10,868	1.01
19	14,542	10,945	10,874	0.99
18	14,739	11,105	11,213	1.01
17	15,312	11,945	12,178	1.02
16	16,020	12,420	12,980	1.05
15	16,563	12,780	13,337	1.04
14	17,280	13,300	14,043	1.06
13	17,721	13,660	14,513	1.06
12	18,308	14,100	15,150	1.07
11	18,948	14,580	15,595	1.07
10	19,064	14,580	15,606	1.07
9	19,279	14,740	15,820	1.07
8	19,794	15,020	16,331	1.09
7	20,440	16,335	16,779	1.03
6	21,472	16,335	17,644	1.08
5	21,628	16,335	17,314	1.06
4	22,977	17,280	18,314	1.06
3	23,455	18,590	18,897	1.02
2	25,174	18,590	20,199	1.09
H1	25,279	18,590	20,461	1.10
63	25,168	18,590	20,364	1.10
62	24,788	18,325	20,269	1.11
61	23,573	17,435	19,180	1.10
60	23,249	17,355	19,074	1.10
59	23,669	17,485	19,368	1.11
58	23,506	17,305	19,196	1.11
57	18,965	14,660	15,507	1.06
56	21,949	16,455	17,974	1.09
55	23,471	16,850	19,130	1.14
54	22,323	16,415	18,434	1.12
53	21,925	16,055	17,999	1.12
52	22,486	16,055	18,145	1.13
51	22,351	16,045	17,970	1.12
50	23,712	16,005	18,595	1.16
49	24,943	16,005	18,667	1.17
48	23,708	15,555	17,415	1.12
47	25,481	15,550	17,757	1.14
46	26,367	15,430	17,623	1.14
45	27,091	15,420	17,107	1.14
44	29,010	15,060	17,410	1.16
S43	32,191	16,284	19,097	1.17

※中学校卒業生数には、中等教育学校（前期課程）修了者数を含めない。
 ※志願倍率の網掛けは、志願者数が募集定員を下回っているもの。

定員割れの状況（学校別、平成元年度－令和２年度）

	学校名	H元			
		定員	志願者数	倍率	定員割れ
1	川之江	495	504	1.02	
2	三島	540	564	1.04	
3	土居	270	289	1.07	
4	新居浜東	495	505	1.02	
5	新居浜西	540	571	1.06	
6	新居浜南	315	369	1.17	
7	新居浜工業	360	396	1.10	
8	新居浜商業	360	374	1.04	
9	西条	530	558	1.05	
10	西条農業	320	359	1.12	
11	小松	225	250	1.11	
12	東予	240	251	1.05	
13	丹原	310	323	1.04	
14	今治東	450	469	1.04	
15	今治西	450	477	1.06	
16	今治南	485	552	1.14	
17	今治北	495	512	1.03	
18	今治工業	360	400	1.11	
19	大島	135	109	0.81	○
20	伯方	135	125	0.93	○
21	弓削	135	149	1.10	
22	大三島	135	110	0.81	○
23	北条	450	518	1.15	
24	松山東	495	505	1.02	
25	松山西	496	673	1.36	
26	松山南	本校 砥部	490	514	1.05
27			80	134	1.68
28	松山北	本校 中島	495	576	1.16
29			90	60	0.67
30	松山中央		451	667	1.48
31	松山工業		441	615	1.39
32	松山商業		541	739	1.37
33	東温		491	820	1.67
34	上浮穴		130	98	0.75
35	小田		90	81	0.90
36	伊予農業		360	461	1.28
37	伊予		450	593	1.32
38	中山		130	91	0.70
39	大洲		360	376	1.04
40	大洲農業		160	168	1.05
41	長浜		135	109	0.81
42	内子		180	200	1.11
43	八幡浜		495	507	1.02
44	八幡浜工業		280	300	1.07
45	川之石		260	252	0.97
46	三崎		135	92	0.68
47	三瓶		180	137	0.76
48	宇和		350	343	0.98
49	野村		265	240	0.91
50	宇和島東		490	515	1.05
51	宇和島南		445	464	1.04
52	宇和島水産		140	139	0.99
53	吉田		335	338	1.01
54	三間		85	88	1.04
55	北宇和		215	195	0.91
56	津島		180	185	1.03
57	南宇和		445	452	1.02
	合 計	18,595	20,461	1.10	15

	学校名		R 2			
			定員	志願者数	倍率	定員割れ
1	川之江		240	182	0.76	○
2	三島		280	269	0.96	○
3	土居		120	87	0.73	○
4	新居浜東		280	247	0.88	○
5	新居浜西		280	279	1.00	○
6	新居浜南		120	94	0.78	○
7	新居浜工業		200	182	0.91	○
8	新居浜商業		160	146	0.91	○
9	西条		280	280	1.00	
10	西条農業		120	73	0.61	○
11	小松		160	137	0.86	○
12	東予		120	79	0.66	○
13	丹原		160	109	0.68	○
14	今治西	本校	320	286	0.89	○
15		伯方	60	22	0.37	○
16	今治南		240	199	0.83	○
17	今治北	本校	280	276	0.99	○
18		大三島	40	41	1.03	
19	今治工業		200	166	0.83	○
20	弓削		40	32	0.80	○
21	北条		160	94	0.59	○
22	松山東		360	393	1.09	
23	松山南	本校	360	406	1.13	
24		砥部	40	34	0.85	○
25	松山北	本校	360	406	1.13	
26		中島	40	31	0.78	○
27	松山中央		360	367	1.02	
28	松山工業		320	327	1.02	
29	松山商業		360	398	1.11	
30	東温		320	276	0.86	○
31	上浮穴		60	54	0.90	○
32	伊予農業		240	209	0.87	○
33	伊予		280	182	0.65	○
34	大洲		200	158	0.79	○
35	大洲農業		80	81	1.01	
36	長浜		60	37	0.62	○
37	内子	本校	120	92	0.77	○
38		小田	60	16	0.27	○
39	八幡浜		200	185	0.93	○
40	八幡浜工業		80	77	0.96	○
41	川之石		120	100	0.83	○
42	三崎		60	61	1.02	
43	宇和	本校	120	65	0.54	○
44		三瓶	60	6	0.10	○
45	野村		120	57	0.48	○
46	宇和島東		280	291	1.04	
47	宇和島水産		105	55	0.52	○
48	吉田		160	119	0.74	○
49	三間		60	35	0.58	○
50	北宇和		120	91	0.76	○
51	津島		60	28	0.47	○
52	南宇和		160	113	0.71	○
	合 計		9,185	8,030	0.87	41

定員割れの状況（大学科別、平成元年度－令和2年度）

	学校名	大学科	H元			定員割れ
			定員	志願者数	倍率	
1	川之江	普通	495	504	1.02	
2	三島	普通	405	410	1.01	
3		商業	135	154	1.14	
4	土居	普通	270	289	1.07	
5	新居浜東	普通	495	505	1.02	
6	新居浜西	普通	450	467	1.04	
7		家庭	90	104	1.16	
8	新居浜南	普通	315	369	1.17	
9	新居浜工業	工業	360	396	1.10	
10	新居浜商業	商業	360	374	1.04	
11	西条	普通	360	364	1.01	
12		理数	40	51	1.28	
13		商業	90	95	1.06	
14		看護	40	48	1.20	
15	西条農業	農業	320	359	1.12	
16	小松	普通	180	192	1.07	
17		家庭	45	58	1.29	
18	東予	工業	240	251	1.05	
19	丹原	普通	270	277	1.03	
20		農業	40	46	1.15	
21	今治東	普通	450	469	1.04	
22	今治西	普通	450	477	1.06	
23	今治南	普通	405	458	1.13	
24		農業	80	94	1.18	
25	今治北	普通	315	318	1.01	
26		商業	180	194	1.08	
27	今治工業	工業	360	400	1.11	
28	大島	普通	135	109	0.81	○
29	伯方	普通	135	125	0.93	○
30	弓削	普通	135	149	1.10	
31	大三島	普通	135	110	0.81	○
32	北条	普通	450	518	1.15	
33	松山東	普通	495	505	1.02	
34	松山西	普通	496	673	1.36	
35	松山南	本校	450	471	1.05	
36		理数	40	43	1.08	
37		砥部	80	134	1.68	
38		松山北	本校	495	576	1.16
39	中島	普通	90	60	0.67	○
40		普通	451	667	1.48	
41	松山工業	工業	441	615	1.39	
42	松山商業	商業	541	739	1.37	
43	東温	普通	360	592	1.64	
44		商業	91	175	1.92	
45		看護	40	53	1.33	
46	上浮穴	普通	90	72	0.80	○
47		農業	40	26	0.65	○
48	小田	普通	90	81	0.90	○
49	伊予農業	農業	360	461	1.28	
50	伊予	普通	450	593	1.32	
51	中山	普通	90	65	0.72	○
52		農業	40	26	0.65	○
53	大洲	普通	225	232	1.03	
54		商業	135	144	1.07	
55	大洲農業	農業	160	168	1.05	
56	長浜	普通	135	109	0.81	○
57	内子	普通	180	200	1.11	
58	八幡浜	普通	270	274	1.01	
59		商業	225	233	1.04	
60	八幡浜工業	工業	280	300	1.07	
61	川之石	普通	180	176	0.98	○
62		農業	80	76	0.95	○
63	三崎	普通	135	92	0.68	○
64	三瓶	普通	180	137	0.76	○
65	宇和	普通	180	183	1.02	
66		農業	80	67	0.84	○
67		商業	90	93	1.03	
68		普通	225	219	0.97	○
69	宇和島東	農業	40	21	0.53	○
70		普通	225	220	0.98	○
71		理数	40	48	1.20	
72		商業	225	247	1.10	
73	宇和島南	普通	405	422	1.04	
74		看護	40	42	1.05	
75	宇和島水産	水産	140	139	0.99	○
76		普通	135	139	1.03	
77	吉田	工業	200	199	1.00	○
78		普通	45	46	1.02	
79	三間	農業	40	42	1.05	
80		普通	135	123	0.91	○
81	北宇和	農業	80	72	0.90	○
82		普通	180	185	1.03	
83	津島	普通	405	406	1.00	
84		農業	40	46	1.15	
	合 計		18,595	20,461	1.10	22

学校名		大学科	R 2			定員割れ
			定員	志願者数	倍率	
1	川之江	普通	240	182	0.76	○
2	三島	普通	240	230	0.96	○
3		商業	40	39	0.98	○
4	土居	普通	120	87	0.73	○
5	新居浜東	普通	280	247	0.88	○
6	新居浜西	普通	280	279	1.00	○
7	新居浜南	総合	120	94	0.78	○
8	新居浜工業	工業	200	182	0.91	○
9	新居浜商業	商業	160	146	0.91	○
10	西条	普通	200	192	0.96	○
11		国際文理	40	48	1.20	
12		商業	40	40	1.00	
13	西条農業	農業	120	73	0.61	○
14	小松	普通	120	106	0.88	○
15		家庭	40	31	0.78	○
16	東予	工業	120	79	0.66	○
17	丹原	普通	120	85	0.71	○
18		農業	40	24	0.60	○
19	今治西	本校	320	286	0.89	○
20		伯方	60	22	0.37	○
21	今治南	普通	200	173	0.87	○
22		農業	40	26	0.65	○
23	今治北	本校	200	203	1.02	
24		商業	80	73	0.91	○
25		大三島	40	41	1.03	
26	今治工業	工業	200	166	0.83	○
27	弓削	普通	40	32	0.80	○
28	北条	総合	160	94	0.59	○
29	松山東	普通	360	393	1.09	
30	松山南	本校	320	363	1.13	
31		理数	40	43	1.08	
32		砥部	40	34	0.85	○
33	松山北	本校	360	406	1.13	
34		中島	40	31	0.78	○
35	松山中央	普通	360	367	1.02	
36	松山工業	工業	320	327	1.02	
37	松山商業	商業	360	398	1.11	
38	東温	普通	240	210	0.88	○
39		商業	80	66	0.83	○
40		上浮穴	30	30	1.00	
41		農業	30	24	0.80	○
42	伊予農業	農業	240	209	0.87	○
43	伊予	普通	280	182	0.65	○
44	大洲	普通	160	120	0.75	○
45		商業	40	38	0.95	○
46	大洲農業	農業	80	81	1.01	
47	長浜	普通	60	37	0.62	○
48	内子	本校	120	92	0.77	○
49		小田	60	16	0.27	○
50	八幡浜	普通	160	154	0.96	○
51		商業	40	31	0.78	○
52	八幡浜工業	工業	80	77	0.96	○
53	川之石	総合	120	100	0.83	○
54	三崎	普通	60	61	1.02	
55	宇和	本校	80	43	0.54	○
56		農業	40	22	0.55	○
57		三瓶	60	6	0.10	○
58	野村	普通	80	38	0.48	○
59		農業	40	19	0.48	○
60	宇和島東	理・普	160	162	1.01	
61		商業	120	129	1.08	
62	宇和島水産	水産	105	55	0.52	○
63	吉田	普通	80	59	0.74	○
64		工業	80	60	0.75	○
65	三間	普通	30	13	0.43	○
66		農業	30	22	0.73	○
67	北宇和	普通	80	58	0.73	○
68		農業	40	33	0.83	○
69	津島	普通	60	28	0.47	○
70	南宇和	普通	120	93	0.78	○
71		農業	40	20	0.50	○
合 計			9,185	8,030	0.87	55

定員割れの状況（小学科別、平成元年度）

	学校名	小学科	H元			
			定員	志願者数	倍率	定員割れ
1	川之江	普通	495	504	1.02	
2	三島	普通	405	410	1.01	
3		商業	135	154	1.14	
4	土居	普通	270	289	1.07	
5	新居浜東	普通	495	505	1.02	
6	新居浜西	普通	450	467	1.04	
7		家政	90	104	1.16	
8	新居浜南	普通	315	369	1.17	
9	新居浜工業	機械	120	138	1.15	
10		電子機械	40	40	1.00	
11		電気	80	82	1.03	
12		電子工学	40	47	1.18	
13		工業化学	80	89	1.11	
14	新居浜商業	商業	315	278	0.88	○
15		情報処理	45	96	2.13	
16	西条	普通	360	364	1.01	
17		理数	40	51	1.28	
18		商業	90	95	1.06	
19		衛生看護	40	48	1.20	
20	西条農業	農業	40	48	1.20	
21		農業土木	40	38	0.95	○
22		林業	40	52	1.30	
23		造園	40	50	1.25	
24		生活	160	171	1.07	
25	小松	普通	180	192	1.07	
26		家政	45	58	1.29	
27	東予	機械	40	41	1.03	
28		電気	80	79	0.99	○
29		化学工学	40	43	1.08	
30		建築	40	44	1.10	
31		土木	40	44	1.10	
32	丹原	普通	270	277	1.03	
33		農業	40	46	1.15	
34	今治東	普通	450	469	1.04	
35	今治西	普通	450	477	1.06	
36	今治南	普通	405	458	1.13	
37		農業	40	33	0.83	○
38		園芸	40	61	1.53	
39	今治北	普通	315	318	1.01	
40		商業	90	108	1.20	
41		事務	45	44	0.98	○
42		管理	45	42	0.93	○
43	今治工業	機械	120	126	1.05	
44		電気	80	77	0.96	○
45		工業化学	80	91	1.14	
46		繊維工学	40	50	1.25	
47		デザイン	40	56	1.40	
48	大島	普通	135	109	0.81	○
49	伯方	普通	135	125	0.93	○
50	弓削	普通	135	149	1.10	
51	大三島	普通	135	110	0.81	○
52	北条	普通	450	518	1.15	
53	松山東	普通	495	505	1.02	
54	松山西	普通	496	673	1.36	
55	松山南	本校	450	471	1.05	
56		理数	40	43	1.08	
57		砥部 デザイン	80	134	1.68	
58	松山北	本校	495	576	1.16	
59		中島	90	60	0.67	○
60	松山中央	普通	451	667	1.48	
61	松山工業	機械	120	181	1.51	
62		電気	40	31	0.78	○
63		電子	40	37	0.93	○
64		情報技術	40	58	1.45	
65		工業化学	40	64	1.60	
66		建築	81	145	1.79	
67		土木	40	58	1.45	
68		繊維	40	41	1.03	

	学校名	小学科	H元			
			定員	志願者数	倍率	定員割れ
69	松山商業	商業	181	266	1.47	
70		営業	135	156	1.16	
71		事務	135	192	1.42	
72		情報処理	90	125	1.39	
73	東温	普通	360	592	1.64	
74		商業	91	175	1.92	
75		衛生看護	40	53	1.33	
76	上浮穴	普通	90	72	0.80	○
77		林業	40	26	0.65	○
78	小田	普通	90	81	0.90	○
79	伊予農業	農業	40	49	1.23	
80		園芸	40	66	1.65	
81		食品化学	80	106	1.33	
82		生活	120	127	1.06	
83		環境開発	80	113	1.41	
84	伊予	普通	450	593	1.32	
85	中山	普通	90	65	0.72	○
86		特用林産	40	26	0.65	○
87	大洲	普通	225	232	1.03	
88		商業	135	144	1.07	
89	大洲農業	農業	40	37	0.93	○
90		食品化学	40	44	1.10	
91		生活	80	87	1.09	
92	長浜	普通	135	109	0.81	○
93	内子	普通	180	200	1.11	
94	八幡浜	普通	270	274	1.01	
95		商業	135	190	1.41	
96		事務	90	43	0.48	○
97	八幡浜工業	機械	80	89	1.11	
98		電気	80	93	1.16	
99		情報技術	40	46	1.15	
100		工業化学	40	37	0.93	○
101		土木	40	35	0.88	○
102	川之石	普通	180	176	0.98	○
103		園芸	80	76	0.95	○
104	三崎	普通	135	92	0.68	○
105	三瓶	普通	180	137	0.76	○
106	宇和	普通	180	183	1.02	
107		農業経営	40	32	0.80	○
108		農業工学	40	35	0.88	○
109		商業	90	93	1.03	
110	野村	普通	225	219	0.97	○
111		畜産	40	21	0.53	○
112	宇和島東	普通	225	220	0.98	○
113		理数	40	48	1.20	
114		商業	225	247	1.10	
115	宇和島南	普通	405	422	1.04	
116		衛生看護	40	42	1.05	
117	宇和島水産	漁業	35	24	0.69	○
118		水産製造	35	42	1.20	
119		水産増殖	35	41	1.17	
120		機関	35	32	0.91	○
121	吉田	普通	135	139	1.03	
122		機械	80	75	0.94	○
123		電気	40	42	1.05	
124		電子	40	57	1.43	
125		建築	40	25	0.63	○
126	三間	普通	45	46	1.02	
127		農業機械	40	42	1.05	
128	北宇和	普通	135	123	0.91	○
129		農業	40	25	0.63	○
130		食品化学	40	47	1.18	
131	津島	普通	180	185	1.03	
132	南宇和	普通	405	406	1.00	
133		農業	40	46	1.15	
合 計			11,268	12,478	1.11	38

定員割れの状況（小学科別、令和２年度）

	学校名	小学科	R 2			
			定員	志願者数	倍率	定員割れ
1	川之江	普通	240	182	0.76	○
2	三島	普通	240	230	0.96	○
3		商業	40	39	0.98	○
4	土居	普通	120	87	0.73	○
5	新居浜東	普通	280	247	0.88	○
6	新居浜西	普通	280	279	1.00	○
7	新居浜南	総合	120	94	0.78	○
8	新居浜工業	機械	40	44	1.10	
9		電子機械	40	27	0.68	○
10		電気	40	36	0.90	○
11		情報電子	40	39	0.98	○
12		環境化学	40	36	0.90	○
13	新居浜商業	商業	120	123	1.03	
14		情報ビジネス	40	23	0.58	○
15	西条	普通	200	192	0.96	○
16		国際文理	40	48	1.20	
17		商業	40	40	1.00	
18	西条農業	食農科学	40	25	0.63	○
19		環境工学	40	24	0.60	○
20		生活デザイン	40	24	0.60	○
21	小松	普通	120	106	0.88	○
22		ライフデザイン	40	31	0.78	○
23	東予	機械	40	24	0.60	○
24		電気システム	40	27	0.68	○
25		建設工学	40	28	0.70	○
26	丹原	普通	120	85	0.71	○
27		園芸科学	40	24	0.60	○
28	今治西	本校	320	286	0.89	○
29		伯方	60	22	0.37	○
30	今治南	普通	200	173	0.87	○
31		園芸科エイト	40	26	0.65	○
32	今治北	本校	200	203	1.02	
33		商業	40	34	0.85	○
34		情報ビジネス	40	39	0.98	○
35		大三島	40	41	1.03	
36	今治工業	機械造船	40	37	0.93	○
37		電気	40	43	1.08	
38		情報技術	40	40	1.00	
39		環境化学	40	22	0.55	○
40		繊維デザイン	40	24	0.60	○
41	弓削	普通	40	32	0.80	○
42	北条	総合	160	94	0.59	○
43	松山東	普通	360	393	1.09	
44	松山南	本校	320	363	1.13	
45		理数	40	43	1.08	
46		砥部	40	34	0.85	○
47	松山北	本校	360	406	1.13	
48		中島	40	31	0.78	○
49	松山中央	普通	360	367	1.02	
50	松山工業	機械	40	37	0.93	○
51		電子機械	40	43	1.08	
52		電気	40	34	0.85	○
53		情報電子	40	52	1.30	
54		工業化学	40	34	0.85	○
55		建築	40	45	1.13	
56		土木	40	41	1.03	
57		繊維	40	41	1.03	

	学校名	小学科	R 2			
			定員	志願者数	倍率	定員割れ
58	松山商業	商業	80	98	1.23	
59		流通経済	120	128	1.07	
60		地域ビジネス	40	36	0.90	○
61		情報ビジネス	120	136	1.13	
62	東温	普通	240	210	0.88	○
63		商業	80	66	0.83	○
64	上浮穴	普通	30	30	1.00	
65		森林環境	30	24	0.80	○
66	伊予農業	生物工学	40	31	0.78	○
67		園芸流通	40	42	1.05	
68		食品化学	40	37	0.93	○
69		生活科学	40	32	0.80	○
70		環境開発	40	33	0.83	○
71		特用林産	40	34	0.85	○
72	伊予	普通	280	182	0.65	○
73	大洲	普通	160	120	0.75	○
74		商業	40	38	0.95	○
75	大洲農業	生産科学	40	38	0.95	○
76		食品デザイン	40	43	1.08	
77	長浜	普通	60	37	0.62	○
78	内子	本校	120	92	0.77	○
79		小田	60	16	0.27	○
80	八幡浜	普通	160	154	0.96	○
81		商業	40	31	0.78	○
82	八幡浜工業	機械土木工学	40	49	1.23	
83		電気技術	40	28	0.70	○
84	川之石	総合	120	100	0.83	○
85	三崎	普通	60	61	1.02	
86	宇和	本校	80	43	0.54	○
87		生物工学	40	22	0.55	○
88		三瓶	60	6	0.10	○
89	野村	普通	80	38	0.48	○
90		畜産	40	19	0.48	○
91	宇和島東	理・普	160	162	1.01	
92		商業	80	97	1.21	
93		情報ビジネス	40	32	0.80	○
94	宇和島水産	水産食品	35	13	0.37	○
95		水産増殖	35	28	0.80	○
96		海洋技術	35	14	0.40	○
97	吉田	普通	80	59	0.74	○
98		機械建築工学	40	32	0.80	○
99		電気電子	40	28	0.70	○
100	三間	普通	30	13	0.43	○
101		農業機械	30	22	0.73	○
102	北宇和	普通	80	58	0.73	○
103		生産食品	40	33	0.83	○
104	津島	普通	60	28	0.47	○
105	南宇和	普通	120	93	0.78	○
106		農業	40	20	0.50	○
合 計			9,185	8,030	0.87	78

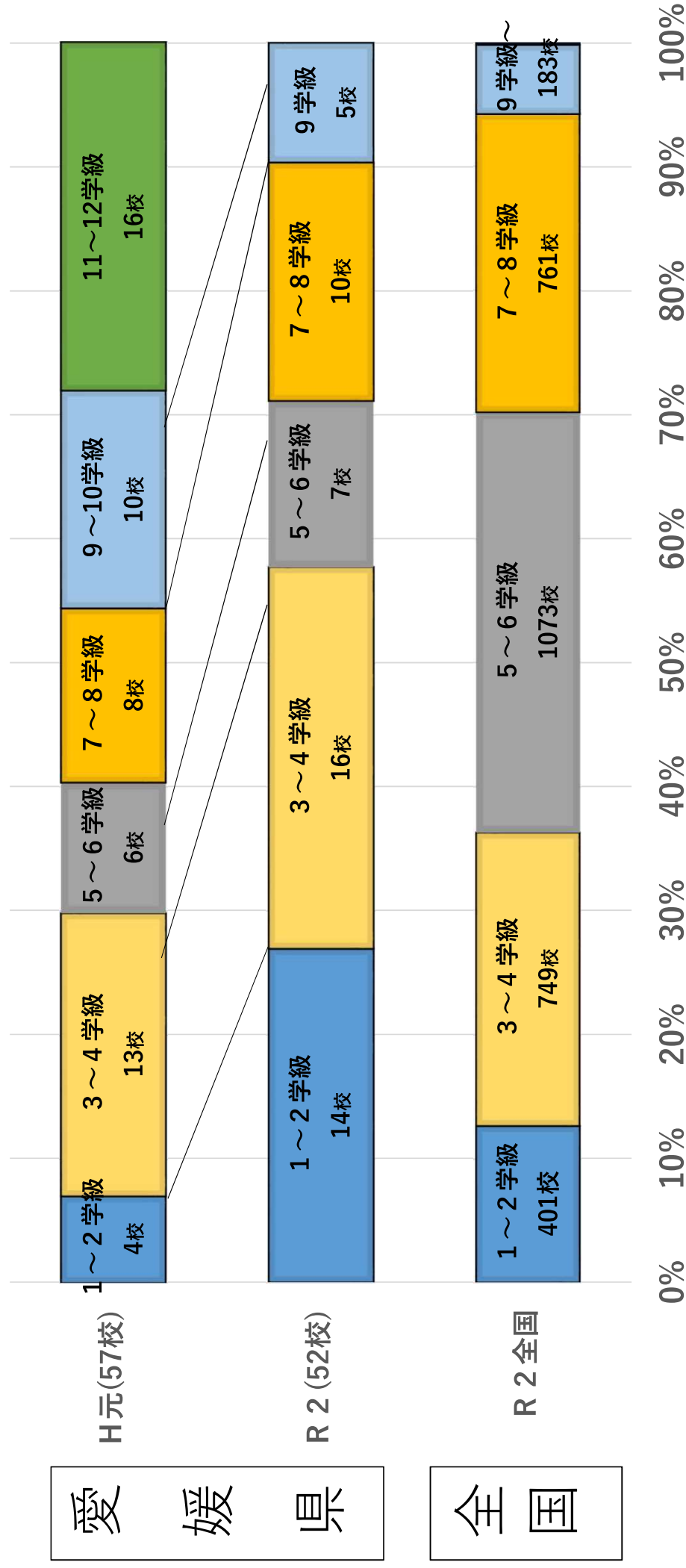
令和元年度全日制高校定員・入学生数調査（学校基本調査による）

※全日制公立高校（本校及び分校）の充足率順

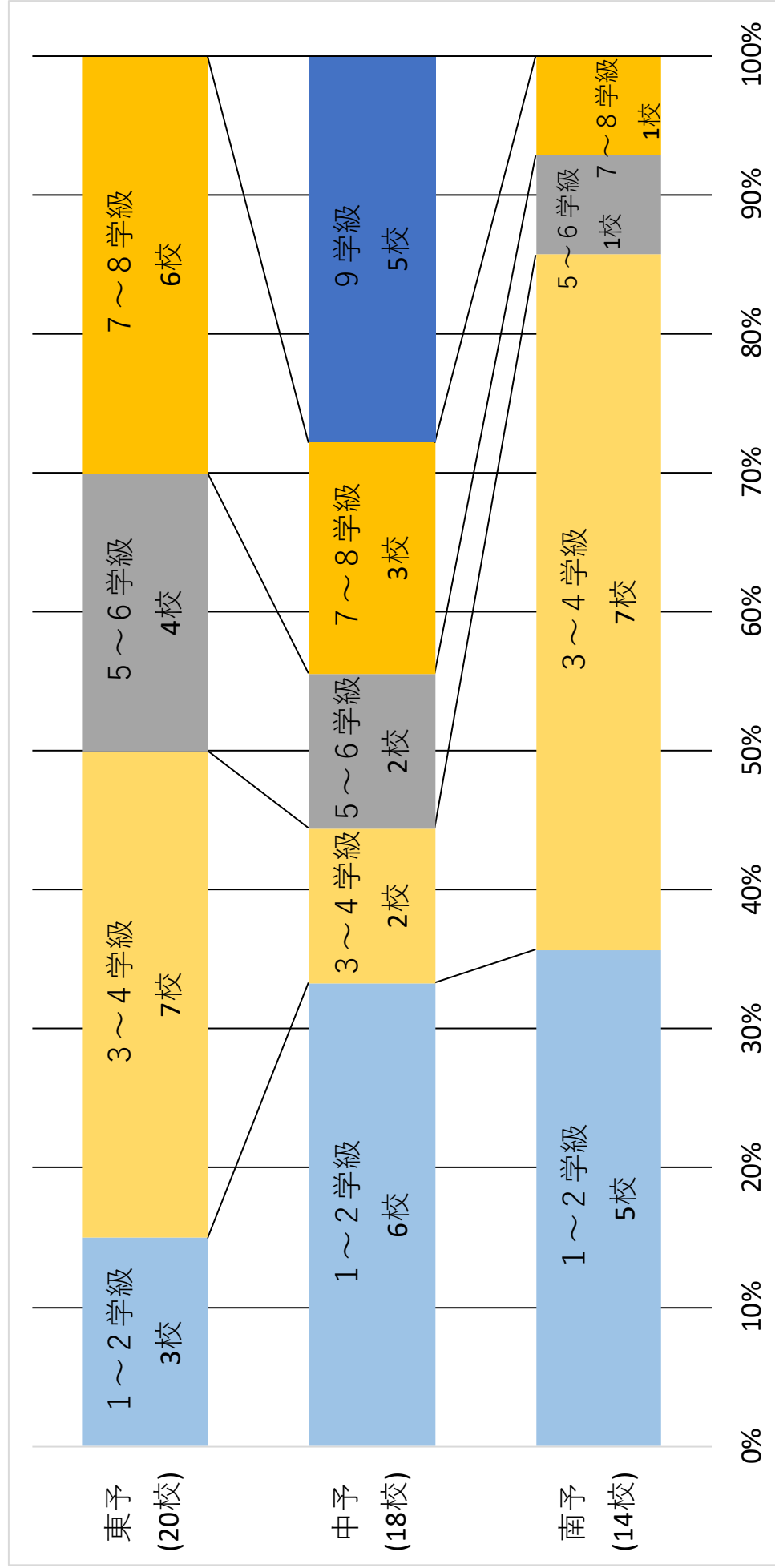
		中学卒業者数	入学定員			入学生数			定員充足率	
			合計	公立	国・私立	合計	公立	国・私立	公立	国・私立
	全 国	1, 112, 083	1, 110, 788	714, 620	396, 168	1, 024, 875	679, 102	345, 773	95. 0%	87. 3%
1	徳 島	6, 394	6, 270	5, 620	650	5, 884	5, 597	287	99. 6%	44. 2%
2	香 川	8, 936	9, 736	6, 254	3, 482	8, 374	6, 215	2, 159	99. 4%	62. 0%
3	埼 玉	63, 542	56, 075	38, 040	18, 035	56, 032	37, 679	18, 353	99. 1%	101. 8%
4	富 山	9, 552	8, 906	6, 781	2, 125	8, 696	6, 707	1, 989	98. 9%	93. 6%
5	栃 木	18, 122	20, 045	12, 035	8, 010	17, 000	11, 893	5, 107	98. 8%	63. 8%
6	兵 庫	49, 587	48, 941	32, 040	16, 901	43, 113	31, 648	11, 465	98. 8%	67. 8%
7	三 重	16, 867	15, 540	11, 720	3, 820	14, 927	11, 528	3, 399	98. 4%	89. 0%
8	岐 阜	19, 430	18, 135	14, 010	4, 125	17, 386	13, 753	3, 633	98. 2%	88. 1%
9	静 岡	33, 844	33, 153	21, 048	12, 105	31, 050	20, 655	10, 395	98. 1%	85. 9%
10	神 奈 川	77, 128	70, 532	43, 728	26, 804	66, 547	42, 875	23, 672	98. 0%	88. 3%
11	滋 賀	13, 978	12, 885	10, 040	2, 845	12, 350	9, 835	2, 515	98. 0%	88. 4%
12	福 井	7, 186	6, 883	4, 935	1, 948	6, 803	4, 831	1, 972	97. 9%	101. 2%
13	佐 賀	7, 845	8, 990	5, 880	3, 110	7, 734	5, 746	1, 988	97. 7%	63. 9%
14	愛 知	70, 197	65, 376	43, 040	22, 336	62, 402	42, 058	20, 344	97. 7%	91. 1%
15	群 馬	18, 266	16, 917	12, 462	4, 455	16, 648	12, 171	4, 477	97. 7%	100. 5%
16	東 京	102, 161	108, 955	42, 412	66, 543	101, 056	41, 349	59, 707	97. 5%	89. 7%
17	長 野	19, 462	18, 220	14, 840	3, 380	17, 904	14, 468	3, 436	97. 5%	101. 7%
18	大 阪	77, 216	77, 018	41, 623	35, 395	71, 943	40, 430	31, 513	97. 1%	89. 0%
19	大 分	10, 063	10, 605	7, 200	3, 405	9, 885	6, 989	2, 896	97. 1%	85. 1%
20	福 岡	45, 416	45, 039	24, 520	20, 519	41, 405	23, 793	17, 612	97. 0%	85. 8%
21	京 都	22, 324	24, 039	12, 339	11, 700	22, 770	11, 955	10, 815	96. 9%	92. 4%
22	山 梨	7, 561	8, 189	5, 751	2, 438	7, 774	5, 564	2, 210	96. 7%	90. 6%
23	岡 山	17, 523	17, 382	11, 820	5, 562	16, 843	11, 370	5, 473	96. 2%	98. 4%
24	千 葉	53, 790	50, 634	33, 749	16, 885	48, 683	32, 410	16, 273	96. 0%	96. 4%
25	新 潟	19, 056	18, 351	13, 911	4, 440	17, 771	13, 260	4, 511	95. 3%	101. 6%
26	山 口	11, 815	12, 580	7, 655	4, 925	10, 637	7, 273	3, 364	95. 0%	68. 3%
27	奈 良	12, 681	12, 343	8, 498	3, 845	11, 127	8, 063	3, 064	94. 9%	79. 7%
28	広 島	25, 643	25, 005	15, 803	9, 202	23, 097	14, 961	8, 136	94. 7%	88. 4%
29	茨 城	25, 998	27, 005	19, 070	7, 935	24, 738	17, 918	6, 820	94. 0%	85. 9%
30	宮 城	20, 573	21, 045	14, 520	6, 525	19, 091	13, 514	5, 577	93. 1%	85. 5%
31	青 森	11, 250	12, 225	8, 320	3, 905	10, 531	7, 731	2, 800	92. 9%	71. 7%
32	宮 崎	10, 226	11, 480	7, 440	4, 040	9, 679	6, 863	2, 816	92. 2%	69. 7%
33	石 川	10, 674	11, 020	7, 840	3, 180	10, 414	7, 205	3, 209	91. 9%	100. 9%
34	鳥 取	5, 187	5, 386	3, 986	1, 400	4, 830	3, 662	1, 168	91. 9%	83. 4%
35	和 歌 山	8, 537	9, 160	7, 220	1, 940	8, 155	6, 611	1, 544	91. 6%	79. 6%
36	福 島	17, 241	17, 360	13, 620	3, 740	15, 964	12, 426	3, 538	91. 2%	94. 6%
37	沖 縄	16, 131	15, 760	14, 720	1, 040	14, 377	13, 370	1, 007	90. 8%	96. 8%
38	山 形	9, 766	10, 718	6, 920	3, 798	9, 375	6, 280	3, 095	90. 8%	81. 5%
39	秋 田	7, 856	8, 144	7, 219	925	7, 244	6, 537	707	90. 6%	76. 4%
40	愛 媛	11, 841	13, 080	9, 225	3, 855	11, 104	8, 132	2, 972	88. 2%	77. 1%
41	北 海 道	43, 997	44, 907	33, 490	11, 417	39, 820	29, 410	10, 410	87. 8%	91. 2%
42	長 崎	12, 432	13, 219	9, 040	4, 179	11, 791	7, 892	3, 899	87. 3%	93. 3%
43	島 根	5, 986	6, 917	5, 190	1, 727	5, 868	4, 508	1, 360	86. 9%	78. 7%
44	岩 手	11, 069	12, 480	9, 715	2, 765	10, 484	8, 317	2, 167	85. 6%	78. 4%
45	熊 本	16, 332	18, 100	11, 840	6, 260	15, 277	9, 709	5, 568	82. 0%	88. 9%
46	鹿 児 島	15, 422	17, 351	12, 161	5, 190	14, 690	9, 951	4, 739	81. 8%	91. 3%
47	高 知	5, 980	8, 687	5, 330	3, 357	5, 602	3, 990	1, 612	74. 9%	48. 0%

1学年当たりの学級数（公立全日制、本校及び分校）

本県（H元・R2）全国（R2）比較



東・中・南予における学校規模の特徴（公立全日制、本校及び分校）



アンケート調査結果

【アンケート調査概要】

○実施主体：(株)日本総合研究所

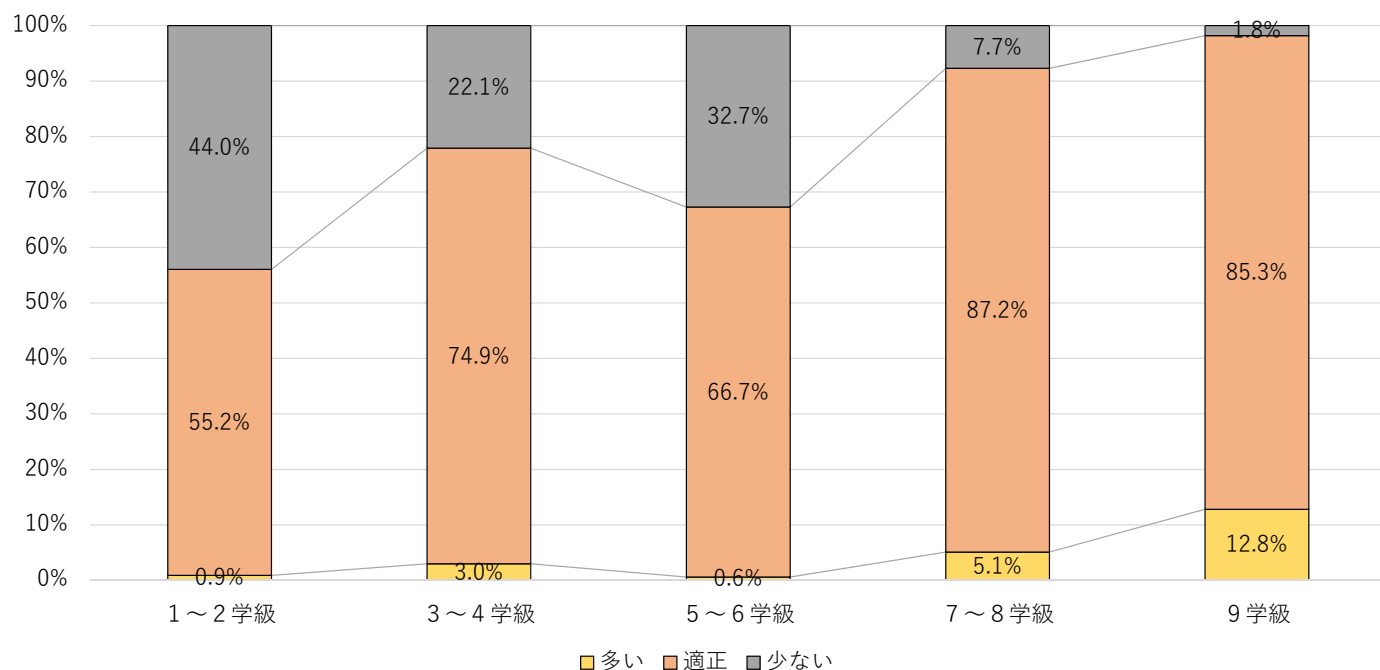
○調査対象：①県立高校2年生及び中等教育学校5年生の保護者
②県立高校及び中等教育学校の学校長及び分校長

○回収数：①1,368人
②56校

○調査期間：①H28.1.25～2.22
②H28.1.25～2.12

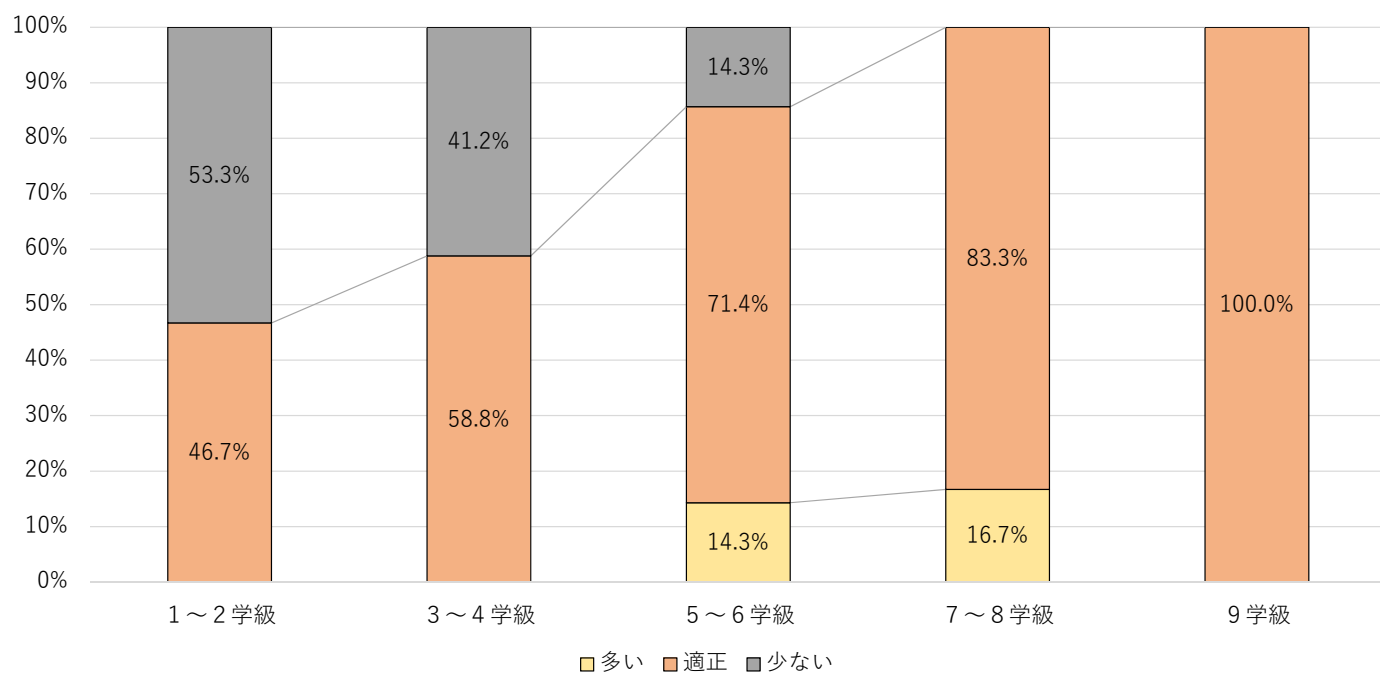
アンケート調査結果①

Q 1：お子様が通われている高校の規模は適正と思われますか。(回答した全ての保護者：n=1,368)



アンケート調査結果②

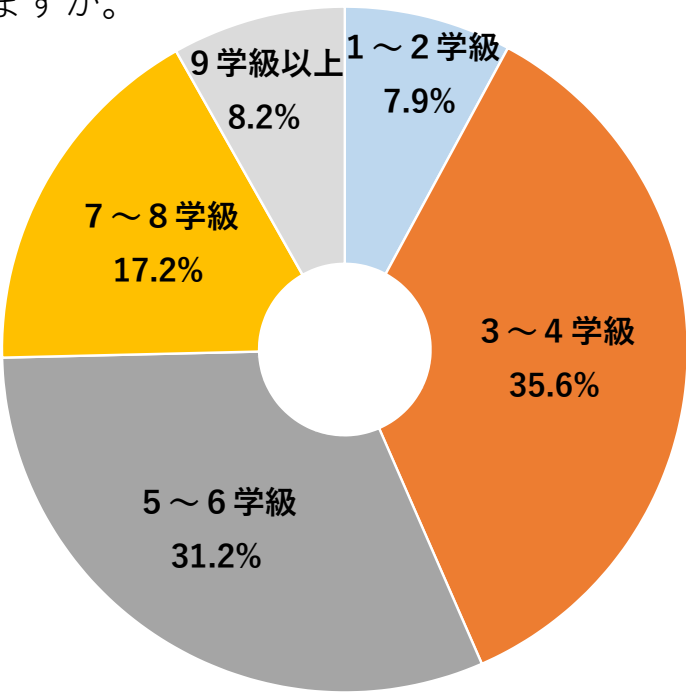
Q 2：自校の規模は適正と思われますか。(全学校長及び分校長：n=56)



アンケート調査結果③－1

Q 3：望ましい学級数は何学級だと思いますか。

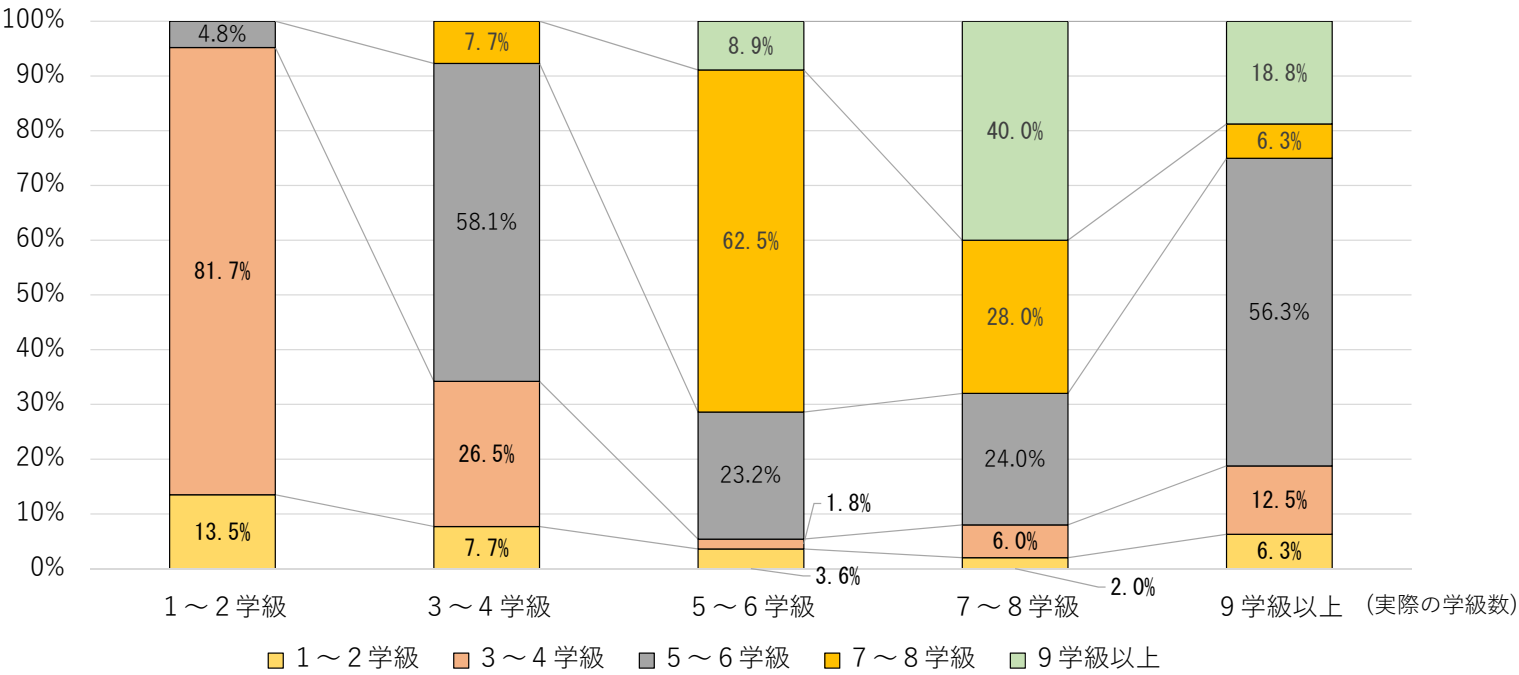
※Q 1で「多い」または「少ない」と回答した保護者(n=343)が解答。



アンケート調査結果③－2

Q 3：望ましい学級数は何学級だと思いますか。

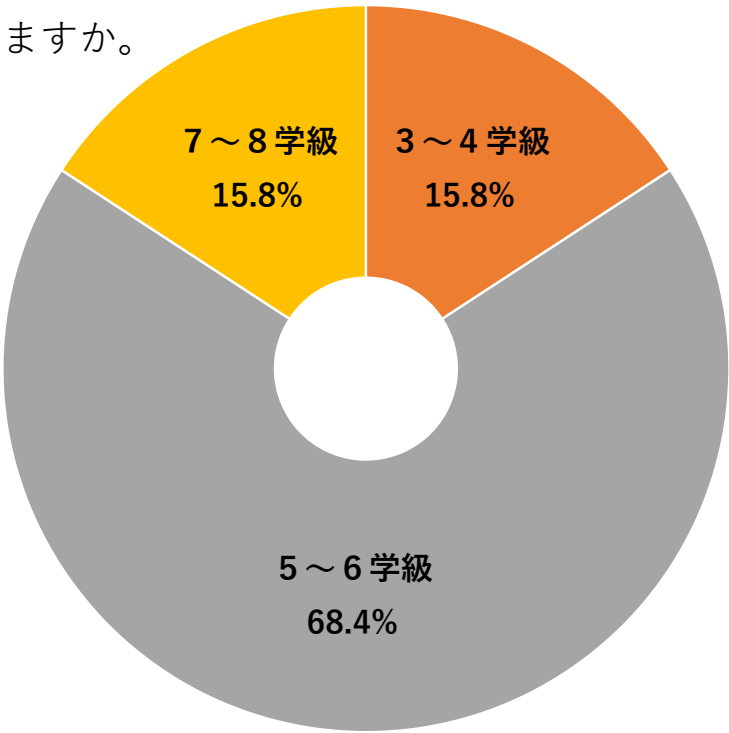
※Q 1で「多い」または「少ない」と回答した保護者(n=343)の解答を、実際の自校の学級数別に表示。



アンケート調査結果④－1

Q 4：望ましい学級数は何学級だと思いますか。

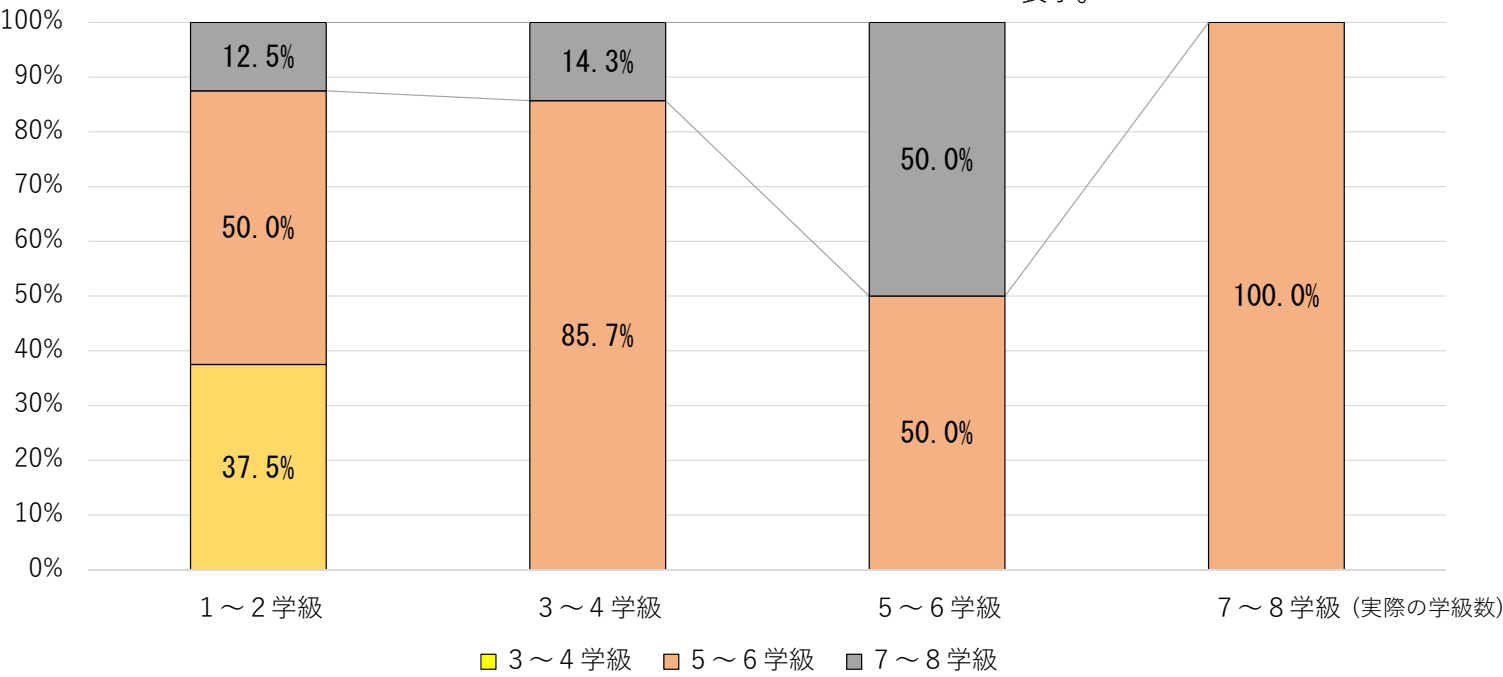
※Q 1で「多い」または「少ない」と回答した学校長及び分校長(n=19)が解答。



アンケート調査結果④－2

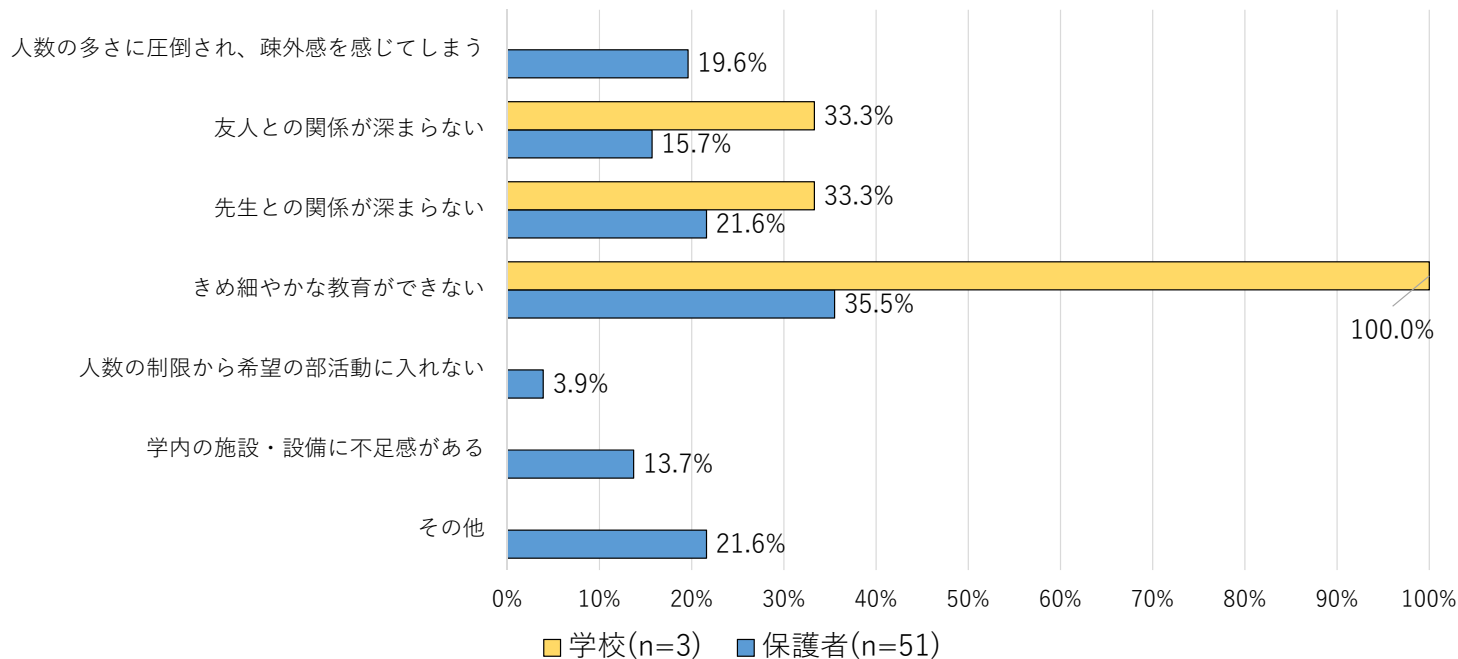
Q 4：望ましい学級数は何学級だと思いますか。

※Q 1で「多い」または「少ない」と回答した学校長及び分校長(n=19)の解答を、実際の自校の学級数別に表示。



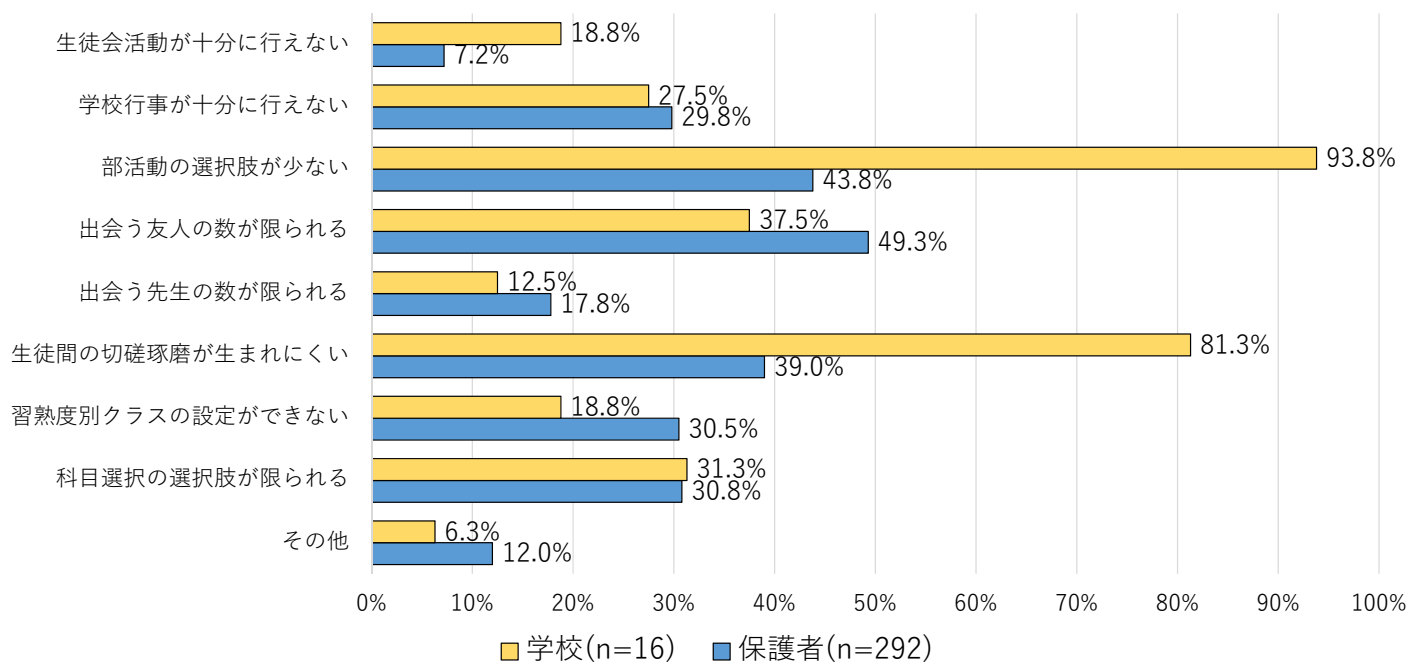
アンケート調査結果⑤

Q 5 : Q 1 で「多い」を選んだ理由を次のうちから選んでください。



アンケート調査結果⑥

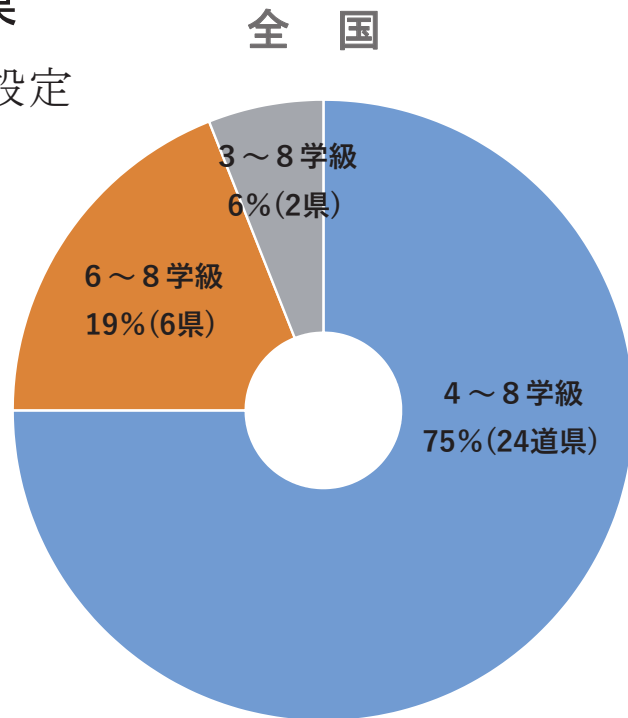
Q 6 : Q 1 で「少ない」を選んだ理由を次のうちから選んでください。



1 学年当たりの適正規模

※47都道府県中、32道県が設定

※本県：4～8学級

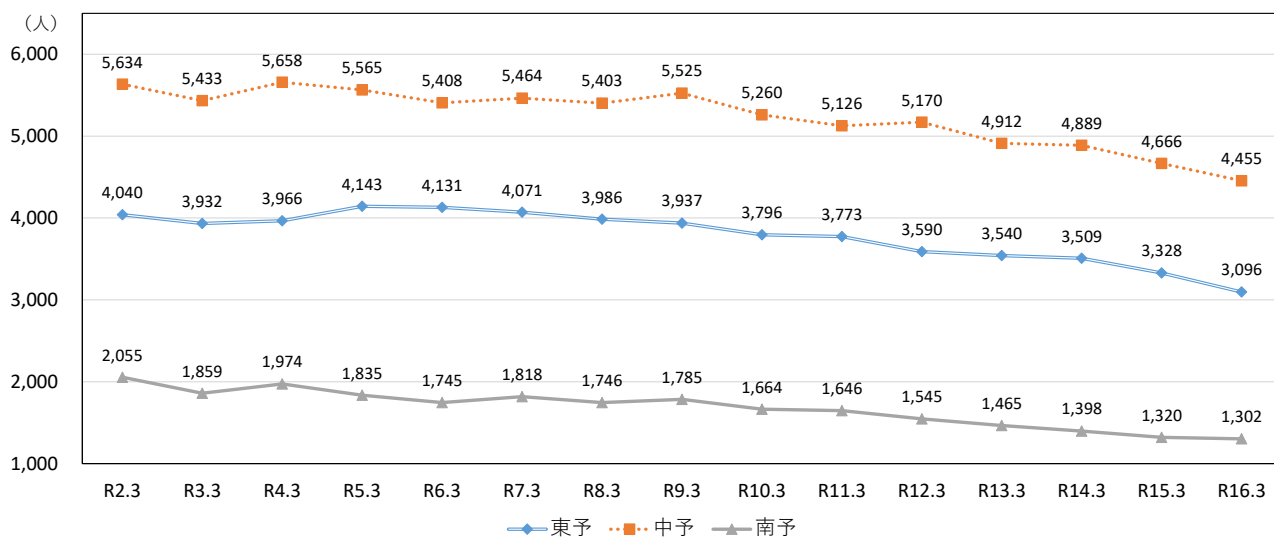


今後の中学校卒業生数の推移

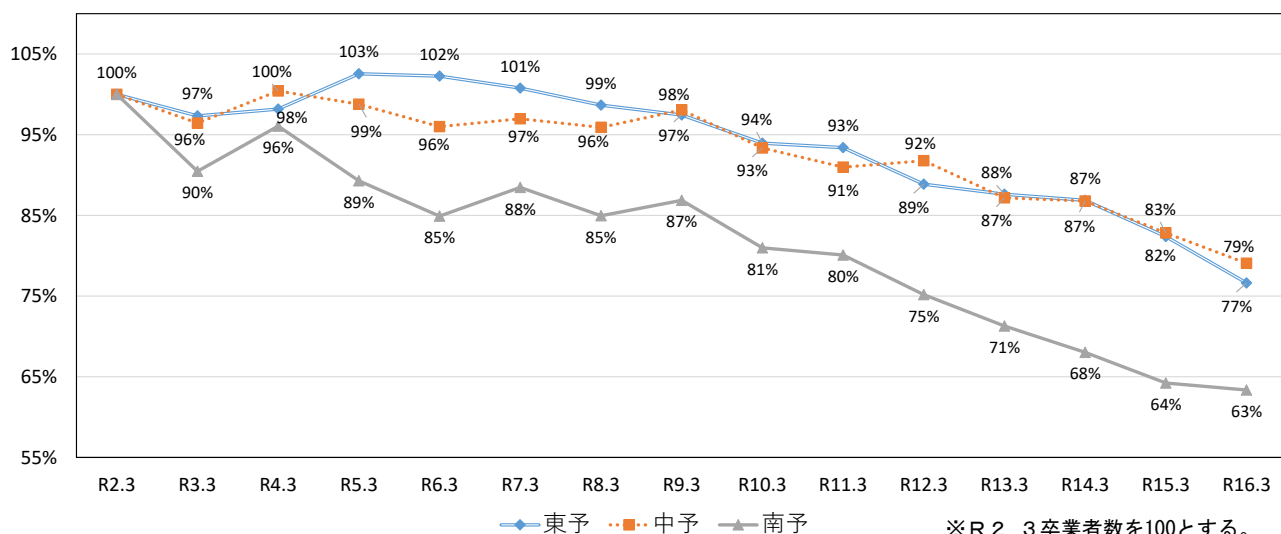
	現高1 R2.3 (実績)	現中3 R3.3 (推計)	現中2 R4.3 (推計)	現中1 R5.3 (推計)	現小6 R6.3 (推計)	現小5 R7.3 (推計)	現小4 R8.3 (推計)	現小3 R9.3 (推計)	現小2 R10.3 (推計)	現小1 R11.3 (推計)	現5歳 R12.3 (推計)	現4歳 R13.3 (推計)	現3歳 R14.3 (推計)	現2歳 R15.3 (推計)	現1歳 R16.3 (推計)	R2とR16の差	
																人数	減少率
四国中央	721	737	693	784	757	723	729	674	694	671	660	630	607	559	558	-163	-22.6%
新居浜	1,030	1,013	970	1,106	1,075	1,050	1,071	1,002	978	1,011	994	912	954	903	796	-234	-22.7%
西条	892	843	919	955	980	959	934	946	901	926	835	858	836	845	754	-138	-15.5%
今治越智	1,397	1,339	1,384	1,298	1,319	1,339	1,252	1,315	1,223	1,165	1,101	1,140	1,112	1,021	988	-409	-29.3%
松山・伊予・上野穴	5,634	5,433	5,658	5,565	5,408	5,464	5,403	5,525	5,260	5,126	5,170	4,912	4,889	4,666	4,455	-1,179	-20.9%
大洲・喜多	521	462	493	460	456	501	470	502	475	427	433	377	385	348	384	-137	-26.3%
八西・西予	594	571	593	592	557	571	506	558	480	505	431	455	430	409	391	-203	-34.2%
宇和島・南宇和	940	826	888	783	732	746	770	725	709	714	681	633	583	563	527	-413	-43.9%
合計	11,729	11,224	11,598	11,543	11,284	11,353	11,135	11,247	10,720	10,545	10,305	9,917	9,796	9,314	8,853	-2,876	-24.5%

※R6.3以降の松山市は、私立中等教育学校定員数（240人）を除く。

東・中・南予別の中学校卒業生数の推移（推定）



東・中・南予別の中学校卒業生数の減少割合（推定）



※R2.3卒業生数を100とする。

学校魅力化の取組について（本県の例）①

- **高等学校地域協働推進事業**

地域魅力化型：三崎高校（R元～）

グローバル型：松山東高校（R元～）

プロフェッショナル型：小松高校（R元～）

- **SSH、SGH、SPH**

SSH(スーパーサイエンスハイスクール)：松山南（H14～）、宇和島東（H25～）、

西条（H30～）

SGH(スーパーグローバルハイスクール)：松山東（H26～H30）、宇和島南（H27～R元）

SPH(スーパープロフェッショナルハイスクール)：今治工業（H28～H30）、

宇和島水産（H29～R元）

- **全国募集**

R2年度入試では45名が合格、R元年度入試では11名が合格

R3年度入試では14校16学科で実施予定

愛媛県立高等学校全国募集のお知らせ

対象となる高等学校(学科)

- 川之江高校(普通科)
- 今治北高校大三島分校(普通科)
- 松山北高校中島分校(普通科)
- 長浜高校(普通科)
- 三崎高校(普通科)
- 野村高校(普通科・畜産科)
- 北宇和高校(普通科・生産食品科)
- 今治西高校伯方分校(普通科)
- 弓削高校(普通科)
- 上浮穴高校(森林環境科)
- 内子高校小田分校(普通科)
- 宇和高校三瓶分校(普通科)
- 三間高校(農業機械科)
- 津島高校(普通科)

※上記以外の高校(全日制普通科)では、従来どおり、県外(通学区域外)からの入学が、定員の5%までの範囲で可能です。



学科改編、新類型・系列・コースの新設(H27～)

R元

◎類型、系列、コース新設

学校名	新設類型等
土居	紙のまちづくりコース

H30

◎類型、系列、コース新設

学校名	新設類型等
小田	ビジネス類型
	グローバル類型
	アカデミア類型
長浜	スペシャルスタディコース

H29

◎学科改編

学校名	新学科	
	学科名	定員
松山商業	地域ビジネス科	40

◎類型、系列、コース新設

学校名	新設類型等
新居浜南	地域共創系列
伯方	グローバル経済コース
伊予	芸術クリエーションコース
	地域イノベーションコース
吉田	ビジネス実践コース
	総合進学コース
	人文社会・応用コース

H28

◎学科改編

学校名	新学科	
	学科名	定員
西条	国際文理科	40
今治工業	機械造船科	40

◎コースの新設

学校名	新設類型等
新居浜東	健康スポーツコース
新居浜西	理数医療類型
	人文社会類型

H27

◎福祉系高校の指定

学校名	新設類型等
川之石	福祉系高校 (福祉サービス系列)

◎コースの新設

学校名	新設類型等
土居	アグリカルチャーコース

市町等からの支援

1 上島町、伊方町及び西予市による「公営塾」の設置

○弓削高校、三崎高校、宇和高校三瓶分校

○公営塾とは、一般に、市町村が運営する塾のことをいう。過疎の離島や中山間地の市町村には、塾や予備校がないことが多く、これが原因で生徒が域外へ流出することもあった。公営塾により、地域の教育環境を充実させることで、地域から域外への生徒の流出を防ぐことを目的として実施する場合が多い。

○本県の県立学校に設置されている事例では、いずれも、校内に設置され、有料で、学習指導や入試対策などを行っている。

2 今治市、松山市、内子町及び伊方町による「給食」の提供

○大三島分校、伯方分校、松山北中島分校、三崎高校、内子小田分校

○市町内の小中学校と共通の調理場で調理して提供。1食あたり300円程度。

3 砥部町、久万高原町及び愛南町による「海外研修費用」の補助

○松山南砥部分校（台湾）、上浮穴高校（ドイツ等）、南宇和高校（カナダ）

4 その他（振興協議会、教育振興会等からの支援を含む）

○寮、寄宿舎等の設置、下宿費用の補助

○通学費の補助、通学用自転車等購入費の補助

○通学バスの運行

○入学祝金の支給

○地域おこし協力隊員の派遣

○全国大会等出場部への補助

○教科書代金の全額補助 等

特色ある学校・学科等について①（他県の例）

- **職業学科の統合**：宮城県立登米総合産業高校
農業科、機械科、電気科、情報技術科、商業科、福祉科の6学科を設し、産業スペシャリストの育成を目指して、地域に密着した教育活動を展開。
- **キャンパス制**：徳島県立阿南光高校（宝田キャンパス・新野キャンパス）
 - 統合前2校の校地を一体的に活用。
 - スクールバスによる両キャンパスのフル活用。
- **異なる基準の設定**：地域校（青森県）
 - 地理的な要因から高校への進学が困難な地域が生じないよう配慮。
 - 高校への通学が困難な地域について、公共交通機関の状況を考慮。
 - 1学級規模の地域校については、入学者数が2年連続して定員の1/2未満となった場合、募集停止等について協議。

特色ある学校・学科等について②（他県の例）

- **観光科**
例）青森県立十和田西高校
地元の観光資源を活用した学習を通して、問題解決能力を身に付ける。
- **災害科学科**
例）宮城県立多賀城高校
防災・減災・環境等に関する学びを深め、「命とくらしを守る」未来の創造者の育成を目指す。
- **探究科**
例）山梨県立甲府第一高校
探究活動を通して、論理的思考力や国際的視野など、グローバルリーダーとして必要な能力を養う。

中等教育学校について

	今治東	松山西	宇和島南
設置年度	H15	H15	H15
1 学年の 学級数	4 学級	4 学級	4 学級
1 学年の 定員	140人 (R 2 ~) 160人 (~H31)	160人	140人 (R 2 ~) 160人 (~H31)

県立中等教育学校の志願者数と倍率の推移

学校名	H15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	R2	平均
今治東	1.54	1.12	1.10	1.28	1.06	0.86	0.93	0.86	0.79	0.83	0.96	1.16	1.03	0.79	0.92	0.66	0.73	0.79	0.97
松山西	4.26	2.88	2.84	2.85	2.98	2.61	2.54	2.69	2.79	2.25	2.48	1.85	1.84	2.08	1.85	1.99	2.36	2.26	2.52
宇和島南	2.80	2.04	2.23	2.28	2.07	1.88	1.34	1.52	1.43	1.61	1.63	1.36	1.39	1.14	1.17	0.77	0.93	0.90	1.58
計	2.86	2.01	2.05	2.14	2.04	1.78	1.60	1.69	1.67	1.56	1.69	1.46	1.42	1.34	1.31	1.14	1.34	1.36	1.69

定時制課程について

H元年度

	学校名	学科名	入学定員	
			学級数	定員
1	川之江	普通	1	40
2	三島	普通	1	40
3	新居浜西	普通	1	40
4	新居浜工業	機械	1	40
5	西条	普通	1	40
6	今治西	普通	2	80
		衛生看護	1	40
7	今治工業	機械	1	40
		電気	1	40
8	○伯方（岩城）	普通	1	40
9	北条	普通	2	80
10	松山南	普通	3	120
11	松山工業	機械	1	40
		電気	1	40
		建築	1	40
12	松山商業	商業	1	40
13	○大洲（肱川）	普通	1	40
14	八幡浜	普通	2	80
15	○野村（土居）	農業	1	40
16	宇和島南	普通	1	40
		衛生看護	1	40
17	○北宇和（日吉）	農業	1	40
合計			27	1,080

○印は分校、それ以外は併置校

R 2 年度

	学校名	学科名	入学定員	
			学級数	定員
1	川之江	普通	1	40
2	新居浜西	普通	1	40
3	西条	普通	1	40
4	今治西	普通	1	40
5	松山南	普通	1	40
6	松山工業	機械	1	40
		建築	1	40
7	松山商業	商業	1	40
8	○大洲（肱川）	普通	1	40
9	八幡浜	普通	1	40
10	宇和島東	普通	1	40
合計			11	440

○印は分校、それ以外は併置校

過去 5 年間の志願者数推移（定時制）

学校名	定員	H28	H29	H30	H31	R2
川之江	40人	19人	10人	5人	13人	20人
新居浜西	40人	22人	38人	23人	26人	13人
西条	40人	14人	25人	21人	25人	14人
今治西	40人	18人	8人	6人	8人	9人
松山南	40人	28人	19人	30人	18人	19人
松山工業	80人	12人	19人	21人	12人	8人
松山商業	40人	13人	4人	2人	13人	4人
大洲肱川	40人	12人	7人	6人	1人	3人
八幡浜	40人	10人	5人	3人	2人	9人
宇和島東	40人	11人	12人	9人	5人	4人
合計	440人	159人	147人	126人	123人	103人